

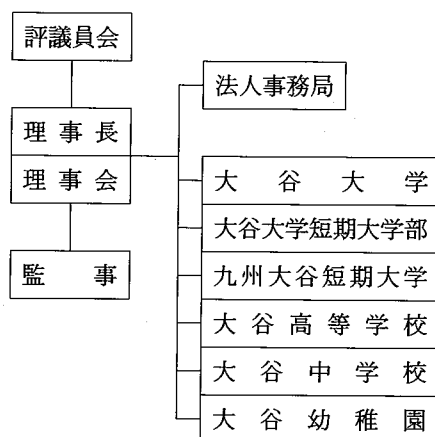
第Ⅱ章 使命の果遂

第1節 組織

1. 組織の概要

(1) 真宗大谷学園

本学は、学校法人真宗大谷学園の経営に係り、真宗大谷学園は以下の通りの組織を有している。学校法人の事務局は、真宗大谷派宗務所内に置かれている。



本学以外の設置校の概要は以下の通りである。

九州大谷短期大学 福岡県筑後市蔵数495-1

創立 1970 (昭和45) 年

専攻科福祉専攻 30名

幼児教育学科 100名 (幼児教育コース・国際教育コース・社会福祉コース)

国文学科 80名 (情報司書コース・演劇放送コース)

仏教学科 10名

大谷高等学校・大谷中学校 京都市東山区今熊野池田町12

創立 1875 (明治8年) 新制大谷中学校 1947 (昭和22) 年

新制大谷高等学校 1948 (昭和23) 年

高等学校募集定員 460名 (男子のみ、普通科・バタビアコース)

中学校募集定員 80名 (男子のみ)

大谷幼稚園 宇治市木幡御蔵山39-727

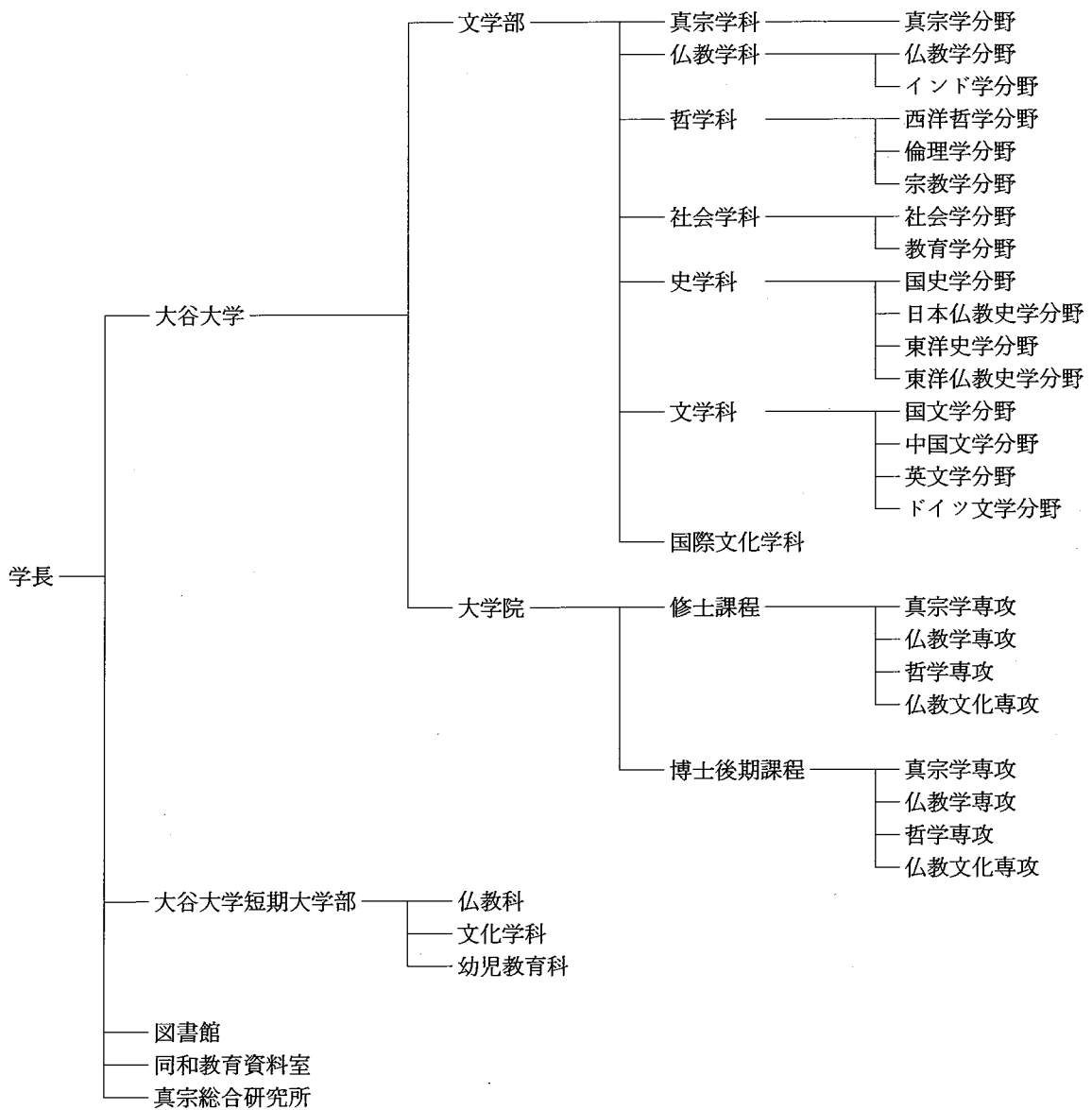
創立 1966 (昭和41) 年

募集定員 3歳児 60名

4歳児 70名

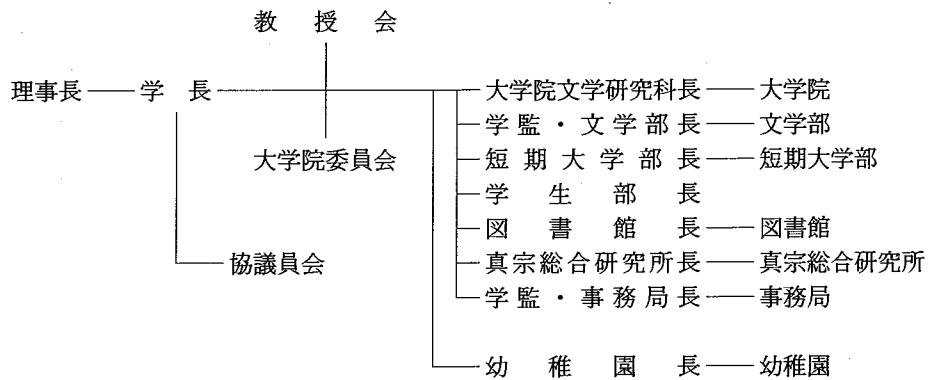
(2) 大谷大学教学組織

大谷大学・大谷大学大学院・大谷大学短期大学部の学科・専攻の組織は以下の通りである。大学の学科編成は1965 (昭和40) 年、6学科体制、1993 (平成7) 年、国際文化学科設置、大学院は1956 (昭和31) 年、現在の体制が編成され、短期大学部は1963 (昭和38) 年、従来の3学科体制となり、1992 (平成4) 年、国文科を文化学科に改組して現在に至っている。

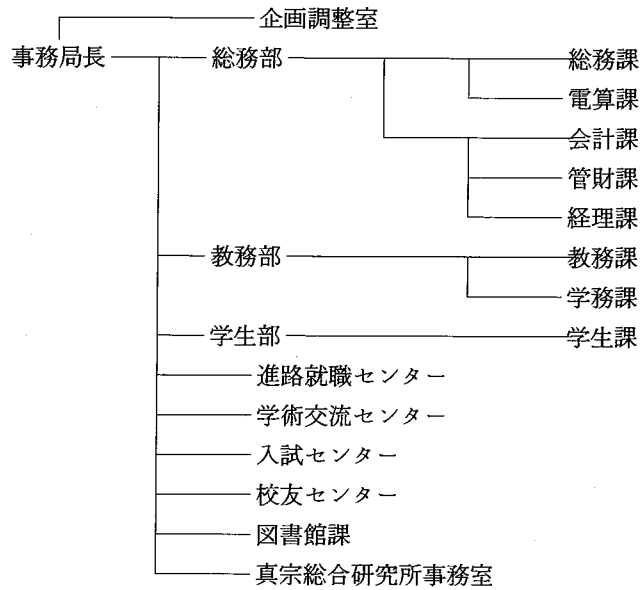


(3) 大谷大学管理運営組織

本学の管理運営に関する組織は以下の通りである。

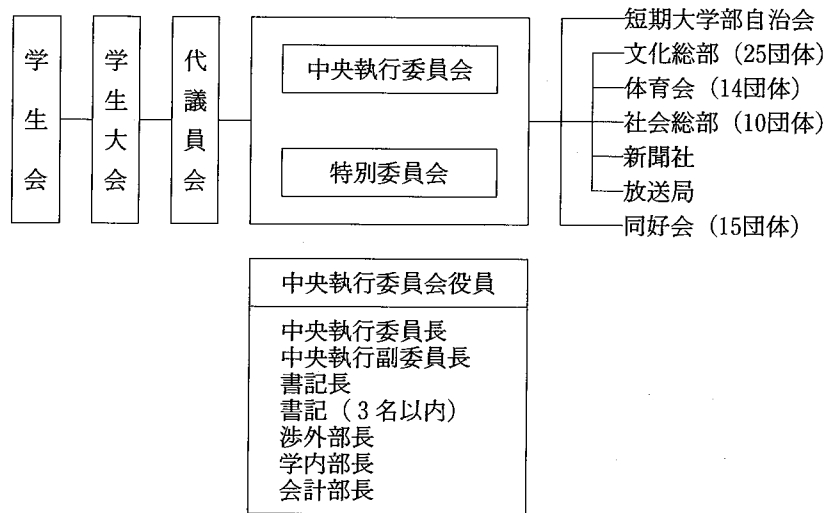


本学事務局の組織は以下の通りの構成となっている。



(4) 学生会組織

本学学生会の組織は以下の通りである。



(5) 大学概況

入学定員・収容定員及びその推移 [1990 (平成2) 年～1995 (平成7) 年]

	平成2年		平成3年		平成4年		平成5年		平成6年		平成7年	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
真宗学科	100	400	130	430	130	460	100	460	100	460	100	430
恒常定員			100	400	100	400	70	370	70	340	70	310
臨時定員			30	30	30	60	30	90	30	120	30	120
仏教学科	100	400	130	430	130	460	100	460	100	460	100	430
恒常定員			100	400	100	400	70	370	70	340	70	310
臨時定員			30	30	30	60	30	90	30	120	30	120

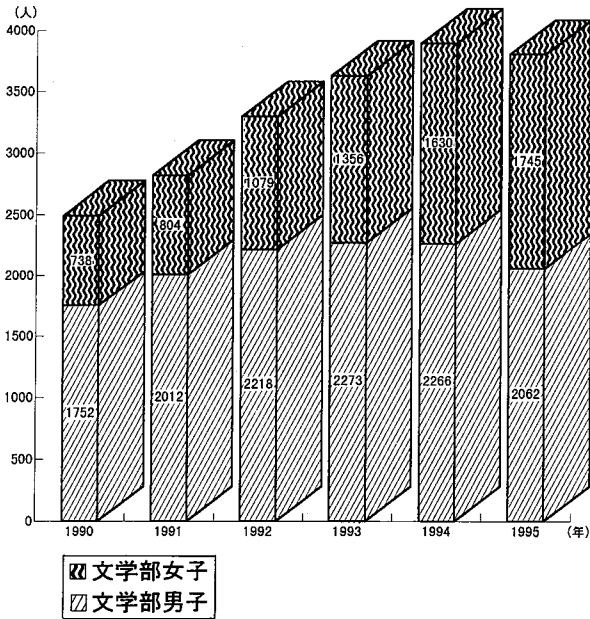
哲 学 科	70	280	130	340	130	400	100	430	100	460	100	430
恒常定員			70	280	70	280	60	270	60	260	60	250
臨時定員			60	60	60	120	40	160	40	200	40	180
社 会 学 科	70	280	130	340	130	400	100	430	100	460	100	430
恒常定員			70	280	70	280	60	270	60	260	60	250
臨時定員			60	60	60	120	40	160	40	200	40	180
史 学 科	70	280	130	340	130	400	100	430	100	460	100	430
恒常定員			70	280	70	280	60	270	60	260	60	250
臨時定員			60	60	60	120	40	160	40	200	40	180
文 学 科	70	280	130	340	130	400	100	430	100	460	100	430
恒常定員			70	280	70	280	60	270	60	260	60	250
臨時定員			60	60	60	120	40	160	40	200	40	180
国際文化学科	—	—	—	—	—	—	180	180	180	360	180	540
恒常定員							100	100	100	200	100	300
臨時定員							80	80	80	160	80	240
合 計	480	1920	780	2220	780	2520	780	2820	780	3120	780	3120
恒常定員			480	1920	480	1920	480	1920	480	1920	480	1920
臨時定員			300	300	300	600	300	900	300	1200	300	1200

仏 教 科	120	240	180	300	80	260	80	160	80	160	80	160
恒常定員			120	240	50	170	50	100	50	100	50	100
臨時定員			60	60	30	90	30	60	30	60	30	60
文 化 学 科	—	—	—	—	300	300	300	600	300	600	300	600
恒常定員					190	190	190	380	190	380	190	380
臨時定員					110	110	110	220	110	220	110	220
幼 児 教 育 科	70	140	70	140	70	140	70	140	70	140	70	140
恒常定員												
臨時定員												
国 文 科	120	240	200	320	—	200	—	—	—	—	—	—
恒常定員			120	240		120						
臨時定員			80	80		80						
合 計	310	620	450	760	450	900	450	900	450	900	450	900
恒常定員			310	620	310	620	310	620	310	620	310	620
臨時定員			140	140	140	280	140	280	140	280	140	280

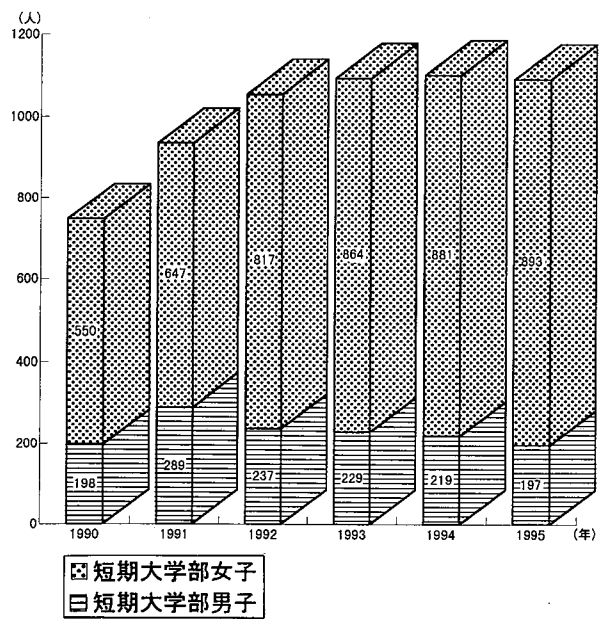
総 計	790	2540	1230	2980	1230	3420	1230	3720	1230	4020	1230	4020
恒常定員			790	2540	790	2540	790	2540	790	2540	790	2540
臨時定員			440	440	440	880	440	1180	440	1480	440	1480

学生数及びその推移

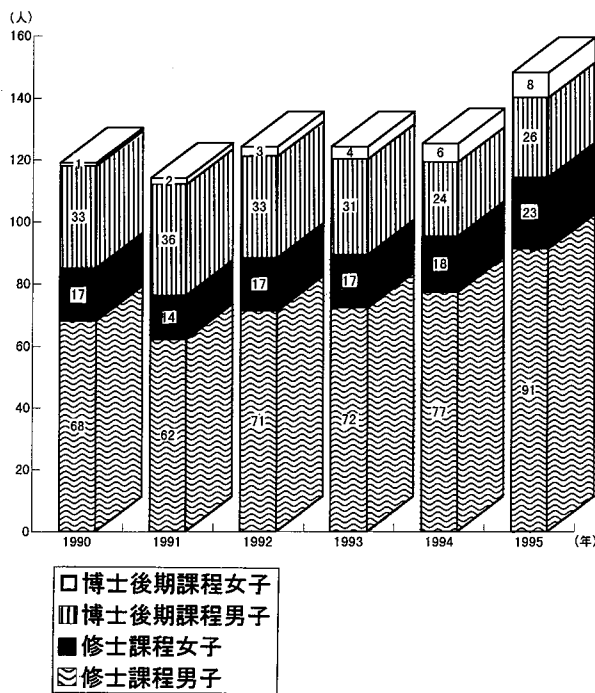
①文学部学生数推移



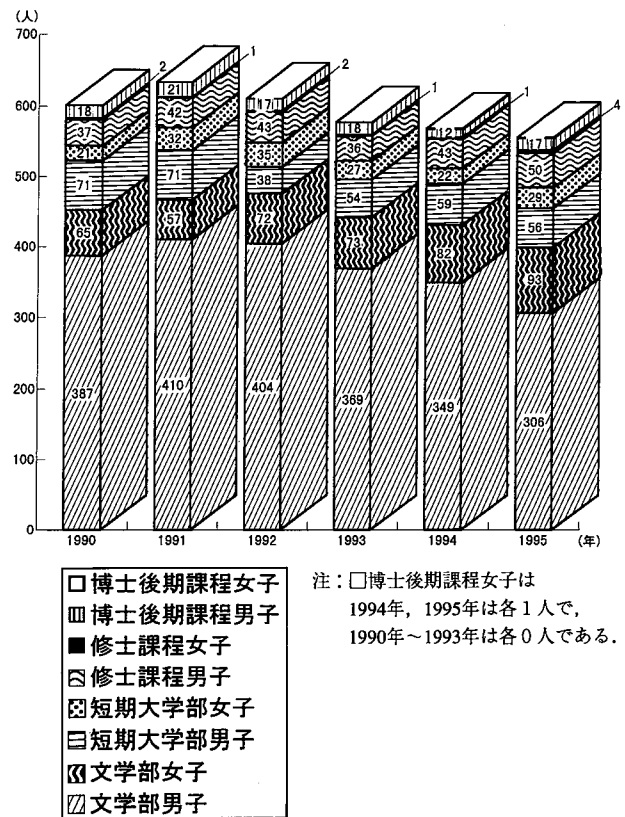
②短期大学部学生数推移



③大学院学生数推移



④真宗大谷派寺院子弟数推移



注：□博士後期課程女子は
1994年、1995年は各1人で、
1990年～1993年は各0人である。

教職員数

1995（平成7）年5月1日現在の教職員数

大谷大学

- | | | | | |
|--------|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. 教員数 | 74名（男68名、女6名） | 2. 職員数 | 88名（男35名、女53名） | |
| | 〈内訳〉 | | 〈内訳〉 | |
| | 教授 | 42名（男41名、女1名） | 専任職員 | 60名（男35名、女25名） |
| | 助教授 | 19名（男15名、女4名） | 嘱託職員 | 28名（男0名、女28名） |
| | 専任講師 | 13名（男12名、女1名） | | |
- ※学長を除く

大谷大学短期大学部

- | | | | | |
|--------|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 1. 教員数 | 37名（男29名、女8名） | 2. 職員数 | 24名（男12名、女12名） | |
| | 〈内訳〉 | | 〈内訳〉 | |
| | 教授 | 15名（男12名、女3名） | 専任職員 | 18名（男12名、女6名） |
| | 助教授 | 11名（男9名、女2名） | 嘱託職員 | 6名（男0名、女6名） |
| | 専任講師 | 7名（男5名、女2名） | | |
| | 助手 | 4名（男3名、女1名） | | |
- ※学長を除く

2. 学園理事・監事

学校法人真宗大谷学園役員

1995（平成7）年3月現在

No.	役職	担当職名	氏名	選任区分	就任年月日 重任年月日	現職
1	理事	理事長	能 邨 英 士	真宗大谷派宗務総長	1994. 1. 24	真宗大谷派宗務総長 真宗大谷派勝光寺住職
2	理事	常務理事	訓 覇 暉 雄	大谷大学長	1994. 4. 1	大谷大学長 大谷大学短期大学部学長
3	理事		桑 門 豪	九州大谷短期大学長	1980. 4. 1	九州大谷短期大学長
4	理事	常務理事	多 田 孝 圓	大谷高等学校長	1992. 4. 1	大谷中学校長 大谷高等学校長
5	理事	財務担当 理事	しんべ 調 紀	真宗大谷派参務	1994. 1. 24	真宗大谷派参務 真宗大谷派明永寺住職
6	理事	常務理事	しん 藤 田 智 賢	真宗大谷派参務	1994. 1. 24	真宗大谷派参務 真宗大谷派浄善寺住職
7	理事		き 木 越 樹	真宗大谷派宗議会議長	1994. 1. 18	真宗大谷派宗議会議長 真宗大谷派光専寺住職
8	理事		ひろ 廣 本 慶 男	真宗大谷派参議会議長	1991. 6. 7	真宗大谷派参議会議長 滋賀県高島郡今津町長
9	理事		ふじ 藤 島 建 樹	評議員会	1993. 5. 20 1993. 10. 12	大谷大学教授兼大谷大学 学監・文学部長
10	理事		その 園 家 順 一	評議員会	1980. 4. 1 1993. 10. 12	大谷大学学監・事務局長

11	理事		ふる た かず ひろ 古 田 和 弘	評議員会	1991. 3. 15 1993. 10. 12	大谷大学教授兼大谷大学 大学院文学研究科長
12	理事		いづ つじ じつ じょう 五 辻 實 誠	評議員会	1989. 10. 12 1993. 10. 12	真宗大谷派本浄寺住職
13	理事		おもて ごん ち 表 権 七	理事会選任 (門徒)	1987. 10. 1 1993. 10. 1	弁護士
14	理事		こ ぼり か いち 小 堀 嘉 一	理事会選任 (門徒)	1984. 10. 1 1993. 10. 1	㈱小堀取締役会長
15	理事		きし ゅう しょう 岸 融 澄	理事会選任 (評議員会 選任)	1976. 10. 1 1993. 10. 12	
1	監事		いり え まさ のぶ 入 江 正 信		1972. 10. 1 1993. 10. 12	弁護士
2	監事		いづ た そうのすけ 岩 田 宗之助		1980. 4. 1 1993. 10. 12	甲子興業㈱取締役
3	監事		しば た しょうじろう 柴 田 正次郎		1985. 10. 3 1993. 10. 12	㈱柴田法衣店代表取締役

3. 名誉教授

1995 (平成7) 年4月1日現在

氏 名	授与年月日	専 門 分 野
山 田 亮 賢	1971年4月16日	仏教学
舟 橋 一 哉	1975年4月1日	仏教学
横 超 慧 日	1976年4月1日	仏教学
坂 本 弘	1979年4月1日	宗教学
佐々木 教 悟	1980年12月1日	仏教学
藤 原 幸 章	1980年12月1日	真宗学
雲 井 昭 善	1981年5月20日	インド学
柏 原 祐 泉	1982年4月1日	国史学
山 本 唯 一	1986年4月1日	国文学
廣 瀬 杲	1990年4月1日	真宗学
大 屋 憲 一	1991年4月1日	宗教学
堅 田 修	1991年4月1日	国史学
細 川 行 信	1991年4月1日	真宗学
岩 見 至	1992年4月1日	フランス文学
幡 谷 明	1994年4月1日	真宗学
平 野 颯 照	1994年4月1日	中国文学
水 野 有 庸	1994年4月1日	西洋古典文学

4. 教員一覧

寺川 俊昭 テラカワ シュンショウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1928年7月28日 男

出身大学：東京大学文学部

最終学歴：東京大学大学院文学研究科

専門分野：真宗学

所属学会：日本宗教学会、日本印度学仏教学会、日本仏教学会

【最近の業績】①願浄土真実教文類聞記（『真宗大谷派安居講義概要』東本願寺出版部 1995年）
②『講話正信偈3巻』（法蔵館 1995年）③『親鸞の信のダイナミックス—往還二種回向の仏道—』（草光舎 1993年）

【主な業績】①『教行信証の思想』（文栄堂 1990年）②『歎異抄の思想的解明』（法蔵館 1978年）③『清沢満之論』（文栄堂 1973年）④『親鸞のころ』（有斐閣 1983年）⑤『念仏の僧伽を求めて』（法蔵館 1976年）

【キーワード】回向、本願、浄土、願生

【社会活動】広島県西城町特別養護老人ホーム理事、広島県立庄原格致高校同窓会長、ハレジャ基金理事長

臼井 元成 ウスイ ゲンショウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1933年3月18日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：真宗連合学会、日本仏教学会

【最近の業績】①善導浄土教の課題と本質的立場（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1994年）②生死いずべき道—知識と智慈—（『聞遇』—第66回佛教文化講座 1993年）③『蓮如上人の人間観』（教行社 1993年）

【主な業績】①『真宗行信論の研究』（文栄堂 1991年）②願真実信の論理（『大谷大学研究年報』大谷学会 1971年）③祖聖親鸞と生死（『日本仏教学会年報』日本仏教学会 1981年）

【キーワード】真実の教、真実の行信、真仮の仏弟子

【社会活動】真宗連合学会理事長

小野 蓮明 オノ レンミョウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1937年2月2日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本宗教学会、日本印度学仏教学会、真宗連合学会、国際真宗学会

【最近の業績】①親鸞における信仰主体の問題—法蔵菩薩の自証—（『大谷学報』大谷学会 1996年）②信心獲得—証大涅槃の真因—（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年）③阿弥陀の誓願と成就—誓願—仏乘—（『仏教における誓願』日本仏教学会・平楽寺書店 1995年）④大乘としての真宗の開顕—「誓願不可思議—実真如海」—（『大谷学報』1994年）⑤同朋精神と信心獲得—蓮如の真宗再興を支えたもの—（『蓮如上人と絵伝』教行社出版 1993年）

【主な業績】①『願と信—親鸞の主体性論—』（文栄堂書店 1982年）②『観無量寿経講要』（東本願寺出版部 1991年）③『親鸞の教え—教行信証「総序」に聞く—』（共著 同朋舎出版 1988年）

【キーワード】親鸞、浄土真宗、「教行信証」

【社会活動】日本印度学仏教学会評議員、真宗連合学会理事

神戸 和磨 カンベ カズマロ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1939年11月19日 男

出身大学：同朋大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：印度哲学仏教学会、真宗連合学会、日本仏教学会

【最近の業績】①往生—現代における救いの問題（『大乘の至極 浄土真宗』大谷大学真宗総合研究所 1995年）②『無量寿経優婆提舎願生偈註』（浄土論中）聞記（真宗大谷派出版部 1995年）③願生浄土—三願的証—（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1994年）④親鸞の国土観—報仏土—（『日本仏教学会年報』1992年）

【主な業績】①『浄土論中』・『観経疏』（共訳『大乘仏典 中国・日本篇5』中央公論社 1993年）②『資料 清沢満之』（同朋舎 1993年）③『仏陀観』（平楽寺書店 1988年）④『親鸞の教え—教行信証「総序」に聞く—』（同朋舎 1988年）⑤誓願—仏乘（『大谷大学研究年報』大谷学会 1985年）⑥阿闍世論上・下（『親鸞教学』1986・87年）

【キーワード】親鸞の仏性論

【社会活動】

安富 信哉 ヤストミ シンヤ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1944年2月14日 男

出身大学：早稲田大学第一文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本仏教学会、日本宗教学会、国際真宗学会

【最近の業績】①能動的自己（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年）②信仰と自律—清沢満之における「修養」の位置（『大谷学報』大谷学会 1994年）③明治中期の真俗二諦論と清沢満之（『親鸞教学』1993年）④夢告と回心—親鸞の夢体験（『仏教』法蔵館 1993年）

【主な業績】①『親鸞の教え—教行信証「総序」に聞く』（同朋舎出版 1988年）②『親鸞と危機意識』（文栄堂書店 1991年）③浄土教と神話—祖型・反復の視点から（『真宗研究』真宗連合学会 1976年）

【キーワード】親鸞、清沢満之、「個」の思想

【社会活動】

江上 浄信 エガミ ジョウシン

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1934年1月6日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：真宗連合学会、日本宗教学会、日本仏教学会、日本印度学仏教学会

【最近の業績】①弥陀回向の法（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1996年）②善知識の意義（『親鸞教学』1993年）

【主な業績】①善導の弥陀身土論（『大谷学報』大谷学会 1970年）②釈尊の悲化—『大無量寿経』悲化段を中心として—（『大谷学報』1973年）③法然上人における念仏論の旨趣（『真宗研究』真宗連合学会 1975年）④選択本願念仏の意義（『大谷大学研究年報』大谷学会 1977年）⑤念仏の奥義（『親鸞教学』1990年）

【キーワード】親鸞、念仏、信心

【社会活動】

延塚 知道 ノブツカ トモミチ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1948年4月15日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本仏教学会、日本印度学仏教学会、日本宗教学会

【最近の業績】①『われはかくの如く如来を信ず』（具足舎 1995年）②『蓮如上人』（共著 東本

願寺 1995年)

【主な業績】①名号が開く仏道(『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1981年)②大行が開く仏道(『親鸞教学』1982年)③歎異する魂(『大谷学報』大谷学会 1984年)④真宗大学の特質—清沢満之畢生の願い—(『親鸞教学』1992年)⑤真宗大学の特質—慶応義塾との対比—(『親鸞教学』1996年)

【キーワード】回心、二種回向

【社会活動】

三明 智彰 ミハル トシアキ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1954年7月6日 男

出身大学：早稲田大学教育学部

最終学歴：大谷大学文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、真宗連合学会

【最近の業績】①曾我量深の法蔵菩薩論の形成過程とその原理(『大谷大学真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗学総合研究所 1994年)②明治初期の真宗大谷派における研究教育とその体制—護法場・学校組織を中心に—(『大谷大学真宗研究所研究紀要』1994年)③阿闍世(『大谷大学研究年報』大谷学会 1993年)④誓願酬報—『教行信証』「真仏土巻」の曇鸞・善導の文を中心に—(『大谷学報』大谷学会 1993年)

【主な業績】真の報仏土—『教行信証』真仏土巻の涅槃経・浄土論・浄土論註の文を中心として—(『親鸞教学』大谷学会真宗学会 1992年)②昭和初年曾我量深・金子大栄大谷大学追放事件の研究(『大谷大学真宗総合研究所紀要』1991年)③親鸞の仏道体系—如来の誓願と「行信」—(日本仏教学会編『仏道の体系』1989年)

【キーワード】親鸞、仏性、教行信証

【社会活動】

安藤 文雄 アンドウ フミオ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1954年1月16日 男

出身大学：立教大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、日本仏教学会

【最近の業績】①親鸞の正像末史観(『大谷大学研究年報』大谷学会 1996年)②浄土真宗における「業・宿業」の問題—『浄土論註』を中心として—(『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年)③法然の『無量寿経』観(『大谷学報』大谷学会 1994年)④清沢満之の平等思想(『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1994

年) ⑤愚禿積親鸞—『教行信証』の教学課題とその主体—(『親鸞教学』1993年)

【主な業績】①真実教開頭(『親鸞教学』1988年)②『教行信証』における「教誡」の意味(『親鸞教学』1990年)③建言我一心(『大谷学報』1987年)④親鸞における女人成仏の問題(『日本仏教学会年報』日本仏教学会 1991年)⑤阿闍世の獲信(『大谷大学研究年報』1992年)

【キーワード】教相判釈、浄土真宗、正像末史観

【社会活動】

藤嶽 明信 フジタケ ミヨウシン

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1953年8月13日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本仏教学会、日本宗教学会、日本印度学仏教学会、国際真宗学会、真宗連合学会、真宗教学学会

【最近の業績】①真実報土(発表要旨)(『大谷学報』大谷学会 1993年)②本願一乗海(『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年)

【主な業績】①本願の仏道(『日本仏教学会年報』1992年)②浄土を求める心—欣慕・帰命・願生—(『大谷学報』1991年)③平等の大悲の開顯(『親鸞教学』1992年)④課題的存在としての人間(『親鸞教学』1990年)⑤仏道の根拠・仏道の主題(『親鸞教学』1985年)

【キーワード】浄土、本願、信知

【社会活動】

一楽 真 イチラク マコト

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1957年9月16日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本仏教学会、印度学仏教学会、日本宗教学会、国際真宗学会、真宗連合学会

【最近の業績】①歎異の精神—「流罪記録」添付の意義をめぐって—(『親鸞教学』1996年)②顕真実教の明証(『大谷学報』大谷学会1996年)③『蓮如上人—親鸞聖人の教えに生きた人—』(共著 東本願寺刊 1996年)④清沢満之にとっての教育(『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』1993年)⑤如来二種の回向(『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1993年)

【主な業績】①無戒名字の比丘(『親鸞教学』1990年)②親鸞の時機観(『親鸞教学』1986年)

③親鸞にとっての『興福寺奏状』（『真宗研究』真宗連合学会 1991年）④大悲往還の回向（『真宗教学研究』真宗教学学会 1993年）

【キーワード】親鸞、仏弟子

【社会活動】

加来 雄之 カク タケン

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1955年10月4日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本仏教学会、日本印度学仏教学会、日本宗教学会、国際真宗学会、ICANAS

【最近の業績】①信仏の因縁—曇鸞における『浄土論』註解の基底—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1995年）

【主な業績】①真宗近代教学における唯識学研究—曾我量深・安田理深の教学の意義—（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1991年）②内観の系譜（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1991年）③欲生心—一如平等の意欲—（『親鸞教学』1989年）

【キーワード】曇鸞

【社会活動】

樋口 章信 ヒグチ ショウシン

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1951年10月21日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：近代日本仏教

所属学会：日本印度学仏教学会、真宗連合学会、国際真宗学会

【最近の業績】①アメリカに渡った清沢満之の精神（『大谷学報』大谷学会 1995年）②清沢満之の文化・文明観（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年）③宗教哲学骸骨における自由の意味（英文）（『ピュアランド』永田文昌堂 1994年）④真宗概念の現代的置換の可能性について—『歎異抄』第一条の欧文諸訳を通じて—（『真宗研究』真宗連合学会 1993年）

【主な業績】①清沢満之の「信念」について（『親鸞教学』1992年）

【キーワード】近代、宗教哲学者、清沢

【社会活動】

吉元 信行 ヨシモト シンギョウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1940年6月17日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学、仏教福祉学

所属学会：日本印度学仏教学会、国際仏教学会、日本仏教社会福祉学会、日本仏教学会、東方学会、日本仏教教育学会、日本宗教学会、北陸宗教文化学会、東方研究会、説話伝承学会

【最近の業績】①カウンセリングにおける仏教的想念（西光義徹編『親鸞とカウンセリング』永田文昌堂 1996年）②パーリ仏教教義集成『サーラサンガハ』について（『仏教研究』国際仏教徒協会〔浜松市〕1995年）③仏陀最後の旅と七不退法（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年）④更生保護、保護司（辞典項目執筆、『現代福祉学レキシコン』雄山閣 1993年）⑤涅槃の異名とその体系（渡辺文麿博士追悼記念論集『原始仏教と大乘仏教』永田文昌堂 1993年）

【主な業績】①『アビダルマ思想』（法蔵館 1982年）②『人間仏陀—その足跡と思想—』（文栄堂 1995年）③滅諦涅槃の異名（『大谷大学研究年報』大谷学会 1985年）

【キーワード】原始仏教、アビダルマ仏教、司法福祉、ビハーラ

【社会活動】法務省保護司（京都・宇治地区保護司会）

宮下 晴輝 ミヤシタ セイキ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1949年1月1日 男

出身大学：金沢大学法文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：印度学仏教学会、日本仏教学会、INTERNATIONAL ASSOCIATION OF BUDDHIST STUDIES、日本宗教学会、比較思想学会、国際真宗学会、AAR（アメリカ宗教学会）

【最近の業績】①「縁起」の意味領域—瑜伽行唯識学派の場合—（『真宗大谷派教学研究所教化研究』真宗大谷派教学研究所 1991年）②無明と諸行—『俱舍論』における心と形—（『日本仏教学会年報』日本仏教学会 1992年）③アビダルマにおける自性の意味—三世実有説の再検討—（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年）

【主な業績】①『俱舍論』における本無今有論の背景—『勝義空性経』の解釈をめぐって—（『仏教学セミナー』1985年）②非摂滅無為（『仏教学セミナー』1989年）③菩薩道の基底をなす仏土（『真宗大谷派教学研究所教化研究』1988年）④涅槃についての一考察（『大谷学報』大谷学会 1989年）

【キーワード】アビダルマ、法、縁起

【社会活動】

小川 一乗 オガワ イチジョウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1936年6月24日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：インド仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、日本西藏学会

【最近の業績】①「十住毘婆抄論」考（『大谷学報』大谷学会 1995年）②「即」の仏道—龍樹における聖と俗の関係—（『日本仏教学会年報』1993年）③「輪廻・転生」に関する龍樹の見解（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1993年）

【主な業績】①『インド大乘仏教における如来蔵・仏性の研究』（文栄堂 1969・74年）②『空性思想の研究—入中論解説—』（文栄堂 1976年）③『仏性思想』（文栄堂 1982年）④『空性思想の研究Ⅱ—チャンドラキールティの中観説—』（文栄堂 1988年）⑤『大乘仏教の原点』（文栄堂 1990年）

【キーワード】龍樹、空、大乘仏教

【社会活動】日本印度学仏教学会理事、日本宗教学会評議員、日本西藏学会委員

舟橋 尚哉 フナハシ ナオヤ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1936年8月7日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：唯識思想、インド思想と仏教

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、東方学会、佛教思想学会、日本西藏学会、日本仏教学会

【最近の業績】①『大乘莊嚴經論』第八章 成熟品の考察（『勝呂信静博士古稀記念論文集』山喜房仏書林 1996年）②大乘阿毘達磨集論 (Abhidharmasamuccaya) と Abhidharmasamuccaya-bhāṣya の和訳並びに研究（『大谷学報』大谷学会 1995年）③輪廻思想と仏教（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年）④『大乘莊嚴經論』の一考察—神通品を中心として—（『印度学仏教学研究』日本印度学仏教学会 1993年）⑤『大乘阿毘達磨集論』の一考察（『印度学仏教学研究』1991年）

【主な業績】①『ネパール写本対照による大乘莊嚴經論の研究』（国書刊行会 1985年）②『初期唯識思想の研究—その成立過程をめぐって—』（国書刊行会 1976年）③『仏教思想9「心」唯心と唯識』（平楽寺書店 1984年）④唯識思想の成立について—唯心から唯識へ—（『仏教学セミナー』1989年）⑤十二分教と三蔵・二蔵との相撰関係について—「大乘莊嚴經論」「大乘阿毘達磨集論」「瑜伽論」を中心として—（『大谷学報』1977年）

【キーワード】唯識思想、大乘阿毘達磨集論、大乘莊嚴經論

【社会活動】

片野 道雄 カタノ ミチオ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1937年1月14日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本西藏学会、日本仏教学会

【最近の業績】①唯識学における否定対象の確認と否定—『レクシェーニンポ』(1、2、2、2) 試解—(『大谷学報』大谷学会 1994年) ②「弥勒請問章」の三相所説に対するツォンカパの解明(『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1992年) ③「撰大乘論」の一節(第二章第二十四節)について(『仏教学セミナー』1990年) ④ツォンカパの中観仏教了義説序—「善説心髄」二(一) —(二)(1) 試解—(『仏教学セミナー』1989年) ⑤ツォンカパの解明する清弁の中観思想—「了義未了義論」二(二)(A)(a) 試解—(『大谷大学真宗総合研究所研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1986年)

【主な業績】①『インド佛教における唯識思想の研究—無性造「撰大乘論註」所知相章の解説—』(文栄堂書店 1975年) ②無住涅槃としての転依—無性造「撰大乘論註」第九章の解説—(『大谷学報』1976年) ③シャーントラクシタの勝義としての否定論証の綱要—ツォンカパ造『善説心髄』試解—(『大谷学報』1988年) ④撰大乘論の造論の意趣について(『仏教学セミナー』1980年) ⑤大乘唯識思想の成立—ツォンカパ所別の「中辺分別論」所説を通じて—(『仏教学セミナー』1984年)

【キーワード】『撰大乘論』、唯識、『レクシェーニンポ』

【社会活動】

兵藤 一夫 ヒョウドウ カズオ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1948年3月1日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本西藏学会、日本仏教学会、比較思想学会、パーリ学仏教文化学会

【最近の業績】①瑜伽行と唯識説(『大谷大学研究年報』大谷学会 1995年) ②二種の生死について(『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1993年) ③三性説における唯識無境の意義(1)(『大谷学報』大谷学会 1990年) ④三性説における唯識無境の意義(2)(『大谷学報』1991年)

【主な業績】①「俱舎論」に見える説一切有部と経量部の異熟説（『仏教思想史』平楽寺書店 1980年）②「現観荘嚴論明義釈の注釈、心髄荘嚴」和訳（1）（『仏教学セミナー』1989年）、「現観荘嚴論明義釈、心髄荘嚴」和訳（2）（真野龍海博士頌寿記念論文集『般若波羅蜜多の研究』山喜房仏書林 1992年）、「現観荘嚴論明義釈、心髄荘嚴」和訳（3）（『仏教学セミナー』1992年）③「心 (citta)」の語義解釈—特にヴェスバンドゥの立場を中心にして—（『仏教学セミナー』1982年）

【キーワード】現観荘嚴論、唯識、タルマリンチェン、瑜伽行

【社会活動】

小谷 信千代 オダニ ノブチヨ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1944年5月21日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：印度学仏教学会、日本西藏学会、国際西藏学会、日本仏教学会

【最近の業績】①五停心観の成立過程—釈尊の「法思想」の意真を求めて—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1995年）②釈尊はなぜ「法」を採用したか（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1993年）③チベットの浄土教（『浄土仏教の思想』講談社 1993年）

【主な業績】①『大乘荘嚴経論の研究』（文栄堂 1984年）②『アーラヤ識とマナ識の研究』（文栄堂 1986年）③『実践チベット語文法』（文栄堂 1987年）④『仏教瑜伽行思想の研究』（文栄堂 1991年）⑤『チベット俱舎学の研究』（文栄堂 1995年）

【キーワード】法、瑜伽行

【社会活動】

白館 戒雲 シラタテ カイウン (カンガル ツルタイム・ケサン)

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1942年12月15日 男

出身大学：ペナレスサンスクリット大学大学院仏教学専攻修士過程

最終学歴：ペナレスサンスクリット大学大学院仏教学専攻修士課程

専門分野：仏教学

所属学会：国際チベット学会 (International Association for Tibetan Studies)、日本西藏学会、日本仏教学会、日本印度学仏教学会

【最近の業績】①『吉祥秘密集会成就法清浄瑜伽次第』（共訳 永田文昌堂 1995年）②『大秘密四タントラ概論—チベット密教入門—』（共訳 永田文昌堂 1994年）③チベットの浄土教—民衆の信仰—（『浄土仏教の思想』第3巻 講談社 1993年）④中観学説におけるゲルク派内部での諸異説（『宮坂有勝博士古稀記念論文集インド学密教学研究』法蔵館 1993年）⑤一乗思想と如来蔵思想について（『関西大学東西学術

研究所紀要』関西大学 1993年)

【主な業績】①『アーラヤ識とマナ識の研究 クンシ・カンテル』(文栄堂 1986年) ②『仏教瑜伽行思想の研究』(文栄堂 1991年) ③『改訂版 実践チベット語文法 用例を中心として』(文栄堂 1989年) ④『インド仏教思想史 上・下』(西藏仏教文化協会 1988年) ⑤『阿毘達磨文献における思想の展開』(西藏仏教文化協会 1992年)

【キーワード】道次第、縁起、空性

【社会活動】チベット語・チベット仏教研究会主宰

古田 和弘 フルタ カズヒロ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1935年8月13日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本仏教学会、仏教史学会、日本宗教学会、日本道教学会

【最近の業績】

【主な業績】①報応論と神不滅論(『大谷大学研究年報』大谷学会 1978年) ②中国仏教における勝鬘経の受容と展開(奥田慈応先生喜寿記念『仏教思想論集』平楽寺書店 1976年) ③劉虬の無量義経序(『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1977年)

【キーワード】大乘仏教、涅槃経、六朝仏教思想

【社会活動】学校法人真宗大谷学園理事、真宗大谷派学校連合会理事・運営委員、財団法人仏教学術振興会理事、大蔵経学術用語研究会常務理事、日本仏教学会理事、京都・大学センター運営委員、日本学術会議宗教学研究連絡会委員、日本印度学仏教学会評議員

木村 宣彰 キムラ センショウ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1943年11月8日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、日本仏教学会、道教学会、東方学会、真宗連合学会、朝鮮学会、比較思想学会

【最近の業績】①法蔵における『大乘起信論義記』撰述の意図(『関西大学東西学術研究所紀要』関西大学 1995年) ②『法維摩経序説』(東本願寺出版部 1995年) ③智顛と法蔵—その伝記にみられる異質性—(『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1995年)

【主な業績】①鳩摩羅什の訳経(『大谷大学研究年報』大谷学会 1985年) ②竺道生の「新説」とその背景(『印度学仏教学研究』日本印度学仏教学会 1991年) ③僧叡の法身説

- (『印度学仏教学研究』1988年) ④竺道生の法身説 (『仏教学セミナー』1989年)
 ⑤多羅戒本と達摩戒本 (『戒律の世界』溪水社 1993年)

【キーワード】中国仏教、魏晋南北朝、漢訳經典

【社会活動】

三桐 慈海 ミツギリ ジカイ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1934年1月28日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：中国仏教、中国仏教教理史

所属学会：日本印度学仏教学会、日本仏教学会、東方学会、道教学会

【最近の業績】①方便ということ (『大谷学報』大谷学会 1995年) ②仏道ということ—観無量寿経義疏について— (『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年)

【主な業績】①中国仏教の成立と罪意識 (佐々木現順編『煩惱の研究』清水弘文堂 1975年) ②法華玄論の撰述について (『仏教学セミナー』1980年) ③僧肇の浄土観 (『大谷学報』1970年) ④勝鬘経宝窟における仏性義 (『大谷学報』1985年) ⑤吉蔵の仏性義 (『大谷学報』1989年)

【キーワード】中国仏教思想、浄土、三論宗

【社会活動】

RHODES Robert Franklin ローズ ロバート フランクリン

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

学位：ph.D.

生年月日/性別：1953年10月8日 男

出身大学：University of Hawaii, School of Arts and Sciences

最終学歴：Harvard University Graduate School of Arts and Sciences, East Asian Languages and Civilization Ph.D.

専門分野：印度哲学 (含仏教学)

所属学会：Association for Asian Studies, American Academy of Religion, 日本印度学仏教学会、日本仏教学会

【最近の業績】①Pure Land Practitioner or Lotus Devotee? On the Earliest Biographies of Genshin (*Japanese Religions* 1996年) ②Genshin's Interpretation of the Buddhature as found in the *Ichijō Yōketsu* (『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1995年)

【主な業績】①鳩摩羅什の法華経観 (『大谷学報』大谷学会 1986年) ②Saicho's *Mappo Tomyoki: The Candle of the Latter Dharma*, Translated with an Introduction. (*The Eastern Buddhist* 1980年) ③The Kaihogyo Practice of Mt. Hiei (*Japanese*

Journal of Religious Studies 1987年) ④Shin Buddhist Attitudes Towards the Kami
(*The Eastern Buddhist* 1994年)

【キーワード】日本、仏教

【社会活動】

鍵主 良敬 カギヌシ リョウケイ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1933年6月9日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、東方学会、日本仏教学会、日本印度学仏教学会

【最近の業績】①仏教学の成立について—立破無礙の大意—（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1993年）②有と無の相破と相成の意義—賢首法蔵の視点—（『大谷学報』大谷学会 1993年）

【主な業績】①『華嚴教学序説』（文栄堂 1968年）②『要説大乘起信論』（東本願寺出版部 1983年）③『法蔵』（共著 大蔵出版 1991年）

【キーワード】華嚴経、法蔵、唯心思想

【社会活動】日本印度学仏教学会評議員

一色 順心 イッシキ ジュンシン

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1950年5月22日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会

【最近の業績】①華嚴の修行道と女性善知識（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年）

【主な業績】①菩薩の行位と華嚴の成仏説について（『仏教学セミナー』1986年）②華嚴教学における願行について—法蔵の所説を中心に—（『仏教学セミナー』1990年）③復礼法師の伝記とその周辺（『仏教学セミナー』1984年）

【キーワード】法蔵、華嚴経

【社会活動】

織田 顕祐 オダ アキヒロ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1954年7月26日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本仏教学会、日本印度学仏教学会、日本宗教学会、国際真宗学会、東海印度学仏教学会

【最近の業績】 ①『捜玄記』の法界縁起説（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1995年）②『起信論』の縁起説（『大谷学報』大谷学会 1994年）③菩提流支訳出経論における如来蔵の概念（『印度学仏教学研究』日本印度学仏教学会 1993年）④浄土の考察—『維摩経』を中心として—（『国際真宗学会第6回大会論文集』大谷大学 1994年）⑤大乘仏教における「有」の論理（『仏教学セミナー』1992年）

【主な業績】 ①華嚴一乗思想の成立史的研究—地論宗教判史より見た智儼の教学—（『華嚴学研究』華嚴学研究所 1988年）②真妄から理事へ—法蔵の智儼観—（『仏教学セミナー』1988年）③浄影寺慧遠における「依持と縁起」の背景について（『仏教学セミナー』1990年）④『起信論』の縁起説（『大谷学報』1994年）⑤『捜玄記』の法界縁起説（『仏教学セミナー』1995年）

【キーワード】 中国仏教、華嚴教学

【社会活動】

福島 光哉 フクシマ コウサイ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1932年4月13日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：中国仏教学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本仏教学会、日本宗教学会

【最近の業績】 ①趙宋天台における唯心浄土論（『日本仏教学会年報』日本仏教学会 1993年）②靈芝元照の浄土教—『観経義疏』と天台浄土教—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1994年）③『宋代天台浄土教の研究』（文栄堂 1995年）

【主な業績】 ①開善寺智蔵の二諦思想（『印度学仏教学研究』日本印度学仏教学会 1963年）②浄影寺慧遠の止観思想（『東方学』東方学会 1968年）③妙法としての円融三諦とその思想的背景（『大谷大学研究年報』1976年）

【キーワード】 念仏三昧、唯心浄土、凡夫住生

【社会活動】

山野 俊郎 ヤマノ トシロウ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1951年1月23日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：印度哲学（含仏教学）

所属学会：日本印度学仏教学会、仏教史学会、日本道教学会、日本宗教学会

【最近の業績】①南岳慧思『立誓願文』に関する一試論（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1993年）

【主な業績】①摩訶止観病患境の研究（『大谷大学大学院研究紀要』大谷大学 1984年）②天台智顛の医学思想序説（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1986年）③南岳慧思の頓覚説—頓覚と行位の問題を中心として—（『仏教学セミナー』1987年）④天台智顛の菩提心義—感應発心説を中心として—（『仏教学セミナー』1991年）⑤南岳慧思『立誓願文』に関する一試論（『仏教学セミナー』1993年）

【キーワード】天台、禅仏教

【社会活動】

長崎 法潤 ナガサキ ホウジュン

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1934年4月1日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：印度哲学（含仏教学）

所属学会：日本印度学仏教学会、東方学会、比較思想学会、日本仏教学会、国際真宗学会、パーリ学仏教文化学会、日本宗教学会、The International Association of Buddhist Studies, インド思想史学会、北陸宗教文化学会

【最近の業績】①大谷大学図書館所蔵貝葉写本、解説（『大谷大学図書館所蔵貝葉写本目録』大谷大学図書館 1995年）②ジャータカにあらわれる辟支仏（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1994年）③海外における仏教研究者の視点—方法論を中心として—（『海外における仏教研究の方法と課題』大谷大学真宗総合研究所 1993年）④静寂の聖地—仏教・ジャイナ教の巡礼地—（『Museum Kyushu』博物館等建設推進九州会議 1993年）⑤犀角経と辟支仏（『仏教学セミナー』1992年）

【主な業績】①『The Pramāṇavārttikam of Dharmakīrti』（共著 Nalanda, India, 1964年）②『ブッタの詩Ⅱ』（共訳 講談社 1985年）③『ジャイナ認識論の研究』（平楽寺書店 1988年）④『古因明』（真宗大谷派宗務所出版部 1988年）⑤『ジャータカ全集 7』（共訳 春秋社 1988年）

【キーワード】業論、霊魂、辟支仏

【社会活動】イースタンブディスト協会 'The Eastern Buddhist' 編集委員、パーリ学仏教文化学会理事、学会誌『パーリ学仏教文化学』編集委員、インド思想史学会評議員

箕浦 恵了 ミノウラ エリョウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1935年8月6日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：哲学、ギリシャ哲学、宗教史

所属学会：大谷大学哲学会、関西哲学会、日本宗教学会

【最近の業績】①ソクラテス的対話の生成と宗教的基礎（『大谷大学研究年報』大谷学会 1995年）

【主な業績】①ミレトスのアナクシマンドロス—その断片 DK—12BI について—（『大谷学報』大谷学会 1971年）②ソクラテスと学—プラトン『パイドン』を中心に—（『大谷大学研究年報』1975年）③ソクラテスと死後の生（『哲学論集』大谷学会哲学会 1986年）④プラトン『エウテュデモス』におけるプロトレプティコス・ロゴスとエリスティケー（『大谷学報』1983年）⑤プラトン『リュシス』の友愛観（『大谷学報』1978年）

【キーワード】魂、不死、民衆の宗教

【社会活動】

訓覇 嘩雄 クルベ テルオ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1934年12月16日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：西洋哲学

所属学会：日本哲学会、関西哲学会、日本カント協会

【最近の業績】

【主な業績】①『認識論の根本問題—カントにおける現象概念の研究—』（晃洋書房 1979年）②『倫理学とはなにか—その歴史と可能性—』（勁草書房 1981年）③『現代における知と信の問題』（岩波書店 1983年）

【キーワード】

【社会活動】学校法人真宗大谷学園理事、真宗大谷派学校連合会会長

須藤 訓任 ストウ ノリヒデ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1955年12月17日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：哲学

所属学会：関西哲学会、日本倫理学会、京都哲学会、日本哲学会、日本現象学会、ドイツ文化社

会史学会

【最近の業績】①ニーチェの「経済」思想—アヴェナリウス—マッハによる「あとからの影響」(『大谷大学研究年報』大谷学会 1996年) ②「よきヨーロッパ人」とは誰か—ニーチェからの時代展望—(『理想』理想社 1993年) ③感情伝染(『プラクシスの現象学』所収 世界書院 1993年) ④ミーメーシスとロゴス—スピノザからの問題提起(岩波講座『現代思想』第14巻所収 岩波書店 1994年) ⑤ニーチェ—永劫回帰(『現代思想を学ぶ人のために』所収 世界思想社 1992年)

【主な業績】①意味と無意味—反復によるその生成と崩壊(新岩波講座『哲学』第4巻所収 岩波書店 1985年) ②ニーチェの脱ユートピア—自然と科学(『ユスティティア』ミネルヴァ書房 1992年) ③忘却と想起(『知の理論の現在』所収 世界思想社 1987年) ④言語と反省—クロソウスキー『ディアナの水浴』より(『大谷学報』大谷学会 1986年) ⑤「いっただれが解釈するのか」(『理想』1988年)

【キーワード】意味、価値、言語

【社会活動】

鈴木 幹雄 スズキ ミキオ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1941年11月24日 男

出身大学：東北大学文学部

最終学歴：東北大学大学院文学研究科実践哲学専攻博士課程

専門分野：倫理学

所属学会：東北哲学会、日本倫理学会、日本現象学会

【最近の業績】①ベルクソンと第一次世界大戦—哲学・哲学者・政治—(『哲学論集』大谷大学哲学会 1993年)

【主な業績】①ニーチェの歴史学批判—『生に対する歴史の利害について』をめぐって—(『思索』東北大学哲学研究会 1970年) ②持続と時間(『哲学論集』1976年) ③許しと理解について(『大谷学報』大谷学会 1977年) ④道徳の源泉に向けて(『大谷大学研究年報』大谷学会 1979年)

【キーワード】ベルクソン哲学、時間、悪

【社会活動】

池上 哲司 イケガミ テツジ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1949年2月25日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：現象学的倫理学

所属学会：関西倫理学会、関西哲学会、日本現象学会、日本倫理学会

【最近の業績】①人格と死（『現象学年報』日本現象学会 1996年）②現代における信ずること（『倫理学研究』関西倫理学会 1995年）③自分のなかの他人、他人のなかの自分（『自己と他者』共編著 昭和堂 1994年）④全体主義と個人の倫理（『岩波講座現代思想14』岩波書店 1994年）

【主な業績】①責任を負うということ（『倫理学研究』1978年）②人格の生成（『思想』岩波書店 1978年）③人格の根源（『理想』1980年）④自己となる〈場〉（『思想』1981年）⑤行為の規範とその根拠づけ（『新岩波講座 哲学10』岩波書店 1985年）

【キーワード】自己、人格、行為

【社会活動】

渡辺 啓真 ワタナベ ヒロマサ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1959年2月24日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：倫理学および応用倫理学、西洋近・現代哲学

所属学会：日本ホワイトヘッド・プロセス学会、関西倫理学会、関西哲学会、日本生命倫理学会

【最近の業績】①道徳の客観性—道徳をめぐる実在論と反実在論—（『哲学論集』1995年 大谷大学哲学会）②自然環境の価値—非-人間中心主義が意味するもの—（加茂・谷本編『環境思想を学ぶ人のために』世界思想社 1994年）③内在的価値と倫理—環境倫理の場合—（『大谷学報』大谷学会 1994年）④プラグマティズムの源流—パース・ジェームズ・デューイー—（丸山高司編『現代哲学を学ぶ人のために』世界思想社 1992年）⑤自己利益とは誰の利益か（安彦一恵他編『道徳の理由』昭和堂 1992年）

【主な業績】①ホワイトヘッドの「真理」概念（『プロセス思想』日本ホワイトヘッド・プロセス学会 1989年）②パースにおける「懐疑」と「習慣」—「批判的常識主義への道」—（『倫理学研究』関西倫理学会 1988年）③真理と合意—認識過程における目的としての真理概念—（『哲学論集』大谷大学哲学会 1990年）④探求の目的と規範学—C.S. パースにおけるプラグマティズムの帰結—（『実践哲学研究』実践哲学研究会〔京都大学〕1987年）⑤個体と経験—ホワイトヘッドの改変された主観主義—（『実践哲学研究』1989年）

【キーワード】倫理、生命、環境

【社会活動】

武田 武磨 タケダ タケマロ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1934年7月4日 男

出身大学：九州大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：宗教学、比較宗教思想史

所属学会：日本宗教学会、比較思想学会、印度学仏教学会

【最近の業績】①宗教への人間学的視座（『大谷学報』大谷学会 1996年）②生命論における神秘主義の諸問題—ベルクソンの宗教論を中心として—（『哲学論集』大谷大学哲学会 1994年）③宗教行為と思想表現—ベルクソンの思想におけるキリスト教の問題（『大谷学報』1994年）

【主な業績】①宗教研究における方法論的課題の一視点—M. エリアーデの比較類型論を問題として—（『比較思想研究』日本比較思想研究会 1976年）②歴史の神話論的考察—特に M. エリアーデの諸説に関して—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1979年）③ベルクソンにおける「静的宗教」についての一考察（『大谷学報』1981年）④ベルクソンにおける宗教理解の宗教学史的意義（『大谷学報』1983年）⑤ベルクソンにおける動的宗教と生命論的存在論（『哲学論集』1989年）

【キーワード】ベルクソン、エリアーデ、人間学的宗教学

【社会活動】日本宗教学会理事、比較思想学会評議員

堀尾 孟 ホリオ ツトム

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1940年7月8日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科宗教学専攻博士課程

専門分野：宗教哲学

所属学会：日本宗教学会、関西哲学会、東西宗教交流学会、比較思想学会

【最近の業績】①The Chūōkōron Discussions, Their Background and Meaning (in “Rude Awakenings” Nauzan Institute 1995年) ②西谷先生における「宗教的要求」（『溪聲西谷啓治』燈影撰書20 燈影社 1994年）③西田幾多郎と鈴木貞太郎（『西田哲学』創文社 1994年）

【主な業績】①「依変の境」と現在（『禅と哲学』禅文化研究所 1988年）②『妄想録』について（『宗教学会報』大谷大学宗教学会 1991年）③鈴木大拙（『日本文学と仏教』第十卷 岩波書店 1995年）

【キーワード】禅、哲学科学

【社会活動】関西文化学術研究都市推進機構学術委員会委員、禅文化研究所脳死問題研究会座長、禅文化研究所オウム問題研究会座長、日本宗教学会評議員

門脇 健 カドワキ ケン

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1954年5月4日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科宗教学専攻博士課程

専門分野：ヘーゲルの宗教哲学

所属学会：日本宗教学会、関西哲学会、京都宗教哲学会、京都哲学会

【最近の業績】①「和解」の成就するまで（『ヘーゲル学報』京都ヘーゲル読書会 1990年）②カントにおける「無関心」（『大谷学報』大谷学会 1992年）③法廷から劇場へ—ヘーゲルの世界観（『哲学論集』大谷大学哲学会 1994年）④批判する知と絶対知（『ドイツ観念論との対話』第5巻 ミネルヴァ書房 1994年）⑤倉田百三と亀井勝一郎（『仏教と日本文学』第10巻 岩波書店 1995年）

【主な業績】①和解—ヘーゲルと『ハムレット』—（『宗教哲学研究』京都宗教哲学会 1987年）②劇としての『精神現象学』（『哲学研究』京都哲学会 1987年）③無常或いは無限性ということ（『宗教研究』日本宗教学会 1988年）④愚かということ（『福井高専紀要』福井工業高等専門学校 1988年）⑤よこさまの論理（『哲学論集』1989年）

【キーワード】ヘーゲル哲学、悲劇、宗教哲学、和解、親鸞

【社会活動】ハレジャ基金理事、京都宗教哲学会運営委員

野村 哲也 ノムラ テツヤ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1927年5月16日 男

出身大学：大阪大学理学部

最終学歴：京都大学大学院教育学研究科教育社会専攻修士課程

専門分野：家族社会学、教育社会学

所属学会：日本社会学会、日本教育社会学会、日本社会福祉学会

【最近の業績】①夫婦関係、交差する二つの生活世界—方法論的反省と越境の試みとして—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1995年）

【主な業績】①社会福祉調査論（『新評論』新評論社 1980年）②都市高校生の生活態度と価値観（『教育社会学研究』日本教育社会学会 1967年）③青年期と家族（『ソシオロジ』社会学研究会 1971年）

【キーワード】職業資源、仕事満足度、結婚満足度

【社会活動】文部省登山研究所運営委員、日本教育社会学会評議員

松村 尚子 マツムラ ナオコ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1944年1月1日 女

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程

専門分野：社会学

所属学会：日本社会学会、日本家族社会学会、比較家族史学会、関西社会学会

【最近の業績】①『日本女性史研究文献目録（Ⅲ）』（共著 東京大学出版会 1994年）②花子と太

郎の物語—日本の家族の昨日・今日—（『真実心』光華女子大学 1993年）③『日本女性生活史5 現代』（東京大学出版会 1990年）

【主な業績】①『社会学的発想の系譜（16）』（アカデミー出版会 1975年）②『母性を問う—歴史の変遷』下巻（人文書院 1985年）③現代の階級・階層とその生活問題（『大谷学報』大谷学会 1977年）④「婦人研究者の現状と問題」（『大谷大学研究年報』大谷学会 1981年）

【キーワード】女性、生活、意識

【社会活動】ハレジャ基金理事

寺林 脩 テラバヤシ オサム

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1947年1月11日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：社会学

所属学会：日本社会学会、関西社会学会、日本宗教学会、日本哲学会、関西哲学会

【最近の業績】論文①デュルケムのルソー研究—社会科学的思考の系譜—（『哲学論集』1996年 大谷大学哲学会）②モンテスキューとデュルケム—社会科学的思考の系譜—（『夙川学院短期大学研究紀要』1995年）③宗教回帰について—宗教社会学の課題—（『夙川学院短期大学研究紀要』1992年）④世俗化について—宗教社会学の課題—（『夙川学院短期大学研究紀要』1989年）⑤デュルケムとベルクソン—近代合理主義再考—（『哲学論集』1988年）

【主な業績】論文①デュルケムの道徳教育論（『哲学論集』1978年）②デュルケムの宗教論の展開（『夙川学院短期大学研究紀要』1981年）③デュルケムにおける個人主義（『夙川学院短期大学研究紀要』1985年）口頭発表①デュルケムにおける宗教と自殺（第55回日本社会学会大会研究発表 1982年）②デュルケムとベルクソンの宗教（日本宗教学会第45回学術大会研究発表 1986年）

【キーワード】デュルケム、宗教社会学、集合意識

【社会活動】

滝口 直子 タキグチ ナオコ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

学位：ph.D.

生年月日/性別：1955年5月6日 女

出身大学：京都大学教育学部

最終学歴：カリフォルニア大学大学院神話・民俗学プログラム哲学専攻博士課程

専門分野：文化人類学、心理人類学

所属学会：日本民族学会、アメリカ人類学会 (American Anthropological Association)、心理人

類学会 (Society for Psychological Anthropology)

【最近の業績】①『食と健康の文化人類学』（共編著 学術図書出版社 1995年）②『文化人類学Ⅱ.』（翻訳書 古今書院 1995年）③万能感と無力の受容—病的賭博者の人格特性について—（『哲学論集』大谷大学哲学会 1995年）

【主な業績】①シャーマンの治癒体験（『社会科学ジャーナル—ICU 学報 IIB—』国際基督教大学社会科学研究所 1986年）②民間心理療法家としての宮古シャーマン（『民族学研究』日本民族学研究 1986年）③社会変容のなかでの子供の社会化—中国・上海の事例（『大谷学報』大谷学会 1993年）

【キーワード】依存症、賭博、日本/アメリカ

【社会活動】

高井 康弘 タカイ ヤスヒロ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1956年11月3日 男

出身大学：神戸大学文学部

最終学歴：神戸大学大学院文化学研究科社会文化専攻博士課程

専門分野：社会学、文化人類学

所属学会：日本社会学会、東南アジア史学会、日本民族学会、アジア政経学会、比較家族史学会、関西社会学会

【最近の業績】①チョンブリー県の一農村社会の変容（『タイ—工業化と地域社会の変動—』法律文化社 1995年）②チョンブリー市居住地区の労働と生活（『タイ—工業化と地域社会の変動—』1995年）③北タイ農村の精霊儀礼—ピー・メン踊り考—（『社会学—理論・比較・文化—』晃洋書房 1994年）④病と死をめぐる儀礼—北タイ平地農村のばあい—（『大谷学報』大谷学会 1993年）⑤Notes on Socio-Economical Changes in a Rural Village, Chonburi Province（『Labor and Life of Migrants in Southeast Asian Cities』1993年）

【主な業績】①北タイの守護霊観念と農民家族—ピー・プーヤー儀礼の事例研究—（『アジア研究』アジア政経学会 1991年）②北タイ農村における親子共同の形態と性格（『社会学雑誌』神戸大学社会学研究会 1988年）③チョンブリー県の一農村社会の変容（『タイ—工業化と地域社会の変動—』1995年）④北タイ農村の守護霊観念の変化—巫役（マー・キー）の事例から—（『哲学論集』大谷大学哲学会 1992年）⑤北タイ農村の精霊儀礼—ピー・メン踊り考（『社会学—理論・比較・文化—』1994年）

【キーワード】農民社会、北タイ、精霊儀礼

【社会活動】ハレジャ基金理事

佐賀枝 夏文 サガエ ナツフミ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1948年7月30日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科哲学専攻修士課程

専門分野：社会事業史、福祉サービス、カウンセリング

所属学会：日本社会福祉学会、日本仏教社会福祉学会、日本学生相談学会

【最近の業績】①悩みの生成（『大谷大学学生相談室研究紀要』大谷大学学生相談室 1996年）②ある仏教保育実践者のこころの軌跡（『真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1996年）③二分脊椎症児と保母養成の課題（『保母養成研究』全国保母養成協議会 1994年）④心作用と分別識（『大谷大学学生相談室研究紀要』1994年）⑤大谷派慈善系譜と社会福祉（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1993年）

【主な業績】①母子福祉対策の現状と課題（『児童福祉』東京書籍 1995年）②心のふるさと（『見てらっしゃるおてんとうさま』宣協社 1995年）③大谷派慈善協会（『原典仏教福祉』渓水社 1995年）④身体的ハンデをもつ児童への援助（『新・児童福祉論』八千代出版 1995年）⑤近代大谷派教団社会事業の研究（『日本仏教社会福祉学会年報』日本仏教社会福祉学会 1989年）

【キーワード】保育、社会事業、社会福祉、カウンセリング

【社会活動】滋賀県臨床心理士会評議員（1993.3～1996.3）、ハレジャ基金理事

大竹 鑑 オオタケ アキラ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1936年6月11日 男

出身大学：京都大学教育学部

最終学歴：京都大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程

専門分野：授業過程の研究、宗教教育論、比較教育学（中国）

所属学会：日本教育学会、関西教育学会、日本比較教育学会、日本仏教教育学会、教育哲学会

【最近の業績】①『道徳教育の授業過程』（共著 協同出版 1996年）②笑いと教育—清沢満之・浩々洞の「議論と大笑」の教育学的考察（『大谷学報』大谷学会 1995年）③『文化関連から見た教育の課題』（共著 学術図書出版社 1993年）④「授業」の教育本質論的考察（『哲学論集』大谷大学哲学会 1993年）⑤文化・人間・教育（『大谷大学研究年報』大谷学会 1992年）

【主な業績】①一つの授業論—『介入授業の記録』をとおして（『大谷学報』1987年）②宗教教育論序説—R. スュタイナー教育論の吟味—（『大谷大学研究年報』1985年）③マルクス主義と教育—中国の場合（『大谷学報』1983年）④加入礼の教育的考察（『哲学論集』1981年）⑤蔡元培の「美育」論（『大谷学報』1979年）

【キーワード】死と再生、精神主義、破壊と創造

【社会活動】関西教育学会監事、日本仏教教育学会監事

守谷 正己 モリタニ マサミ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1929年1月3日 男

出身大学：京都師範学校

最終学歴：京都師範学校教育学部教育心理

専門分野：教育学、社会教育

所属学会：

【最近の業績】

【主な業績】①『小学校における保健・安全指導書』（京都市教育委員会 1975年）②『中学校における保健安全指導書』（京都市教育委員会 1976年）③『学校給食指導書』（京都市教育委員会 1979年）

【キーワード】生涯学習、親子関係、自立、自己教育力

【社会活動】京都市研修会講師、奈良県生涯学習指導者研修会講師

大西 正倫 オオニシ マサミチ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1948年12月17日 男

出身大学：京都大学文学部および京都大学教育学部

最終学歴：京都大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程

専門分野：教育学

所属学会：日本教育学会、教育哲学会、関西教育学会

【最近の業績】①「大人になる」ということ（岡田渥美編『人間形成論—教育学の再構築のために—』玉川大学出版部 1996年）②木村素衛における国民教育論の構造（和田修二編『教育的日常の再構築』玉川大学出版部 1996年）③死を迎えるということ—死への「準備」をこえて—（岡田渥美編『老いと死—人間形成論的考察—』玉川大学出版部 1994年）④「国際化教育」の基底原理を求めて（『大谷大学研究年報』大谷学会 1994年）

【主な業績】①木村素衛における「形成・表現」について—木村教育学の研究Ⅰ—（『京都大学教育学部紀要』京都大学教育学部 1986年）②成人期（和田修二・山崎高哉編『人間の生涯と教育の課題—新自然主義の教育学試論—』昭和堂 1988年）③老いと死から教育学を考える—「死への準備教育」をめぐる—（『哲学論集』大谷大学哲学会 1991年）

【キーワード】人間の存在＝生成、人間の生涯の全体、日本の伝統に立脚した教育哲学

【社会活動】

関口 敏美 セキグチ トシミ

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

学位：学術博士

生年月日/性別：1961年11月30日 女

出身大学：奈良女子大学文学部

最終学歴：奈良女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻博士課程

専門分野：教育学・教育史

所属学会：日本教育学会、教育史学会、関西教育学会

【最近の業績】①柳田國男の女性向け読み物について—『木綿以前の事』(1939)を中心に—(『哲学論集』大谷大学哲学会 1996年)②『柳田國男における「学問」の展開と教育観の形成』(風間書房 1995年)③柳田國男における女性と「学問」(『大谷学報』大谷学会 1993年)

【主な業績】①柳田國男における「学問」の課題意識と教育観(『日本の教育史学』教育史学会 1989年)②柳田國男における「国語教育」論の意義(『教育学研究』日本教育学会 1990年)③柳田國男の学問における〈「経済」と「信仰」〉の視点(『人間文化研究科年報』奈良女子大学大学院人間文化研究科 1989年)

【キーワード】女子教育、柳田國男、社会認識

【社会活動】

酒井 汀 サカイ ミギワ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1931年6月8日 男

出身大学：京都大学教育学部

最終学歴：ミシガン大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻修士課程

専門分野：教育心理学、臨床心理学、矯正保護

所属学会：日本心理学会、日本心理臨床学会、日本犯罪心理学会

【最近の業績】①矯正(河合隼雄監修『臨床心理学4 実践と教育訓練』創元社 1994年)②セクシュアリティと人間性と教育(『大谷学報』大谷学会 1994年)③教育における現代神話の崩壊(『哲学論集』大谷大学哲学会 1994年)

【主な業績】①非行化の原因・過程に対する鑑別臨床的理解の枠組み(『犯罪と非行』青少年更生福祉センター 1991年)②非行の心理療法(『青年心理』金子書房 1987年)③青少年による人間私物化犯罪の深層(『青年心理』1990年)

【キーワード】臨床心理学、無意識の精神作用、矯正保護

【社会活動】京都府臨床心理士会副会長、阪神大震災直後からの電話心理相談のボランティア相談員、日本犯罪心理学会理事

杉原 保史 スギハラ ヤスシ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1961年6月29日 男

出身大学：京都大学教育学部

最終学歴：京都大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻博士課程

専門分野：臨床心理学

所属学会：日本心理臨床学会、日本教育心理学会、日本精神分析学会

【最近の業績】①『臨床過程と発達①、②』（共訳 岩崎学術出版社 1993年）②『心理学入門』（共編 培風館 1993年）③『心理面接のノウハウ』（共著 誠信書房 1993年）

【主な業績】①テストによる評価が内発的動機づけに及ぼす影響（『教育心理学研究』日本教育心理学会 1985年）②自我同一性地位における早期完了型について（『心理臨床学研究』日本心理臨床学会 1988年）③遊戯療法における転移体験の一考察（『京都大学教育学部紀要』京都大学教育学部 1989年）

【キーワード】心理療法、精神分析、学生相談

【社会活動】

藤田 昭彦 フジタ アキヒコ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1943年9月10日 男

出身大学：大阪市立大学文学部

最終学歴：大阪市立大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程

専門分野：実験心理学（認知心理学）、教育心理学

所属学会：日本心理学会、日本行動計量学会、関西心理学会

【最近の業績】

【主な業績】①概念学習の数理モデルの仮定（『大谷学報』大谷学会 1975年）②概念学習の仮説検証モデル（『大谷学報』1980年）③概念同定の確率論モデルとプロセスモデル（『大谷学報』1986年）

【キーワード】認知、記憶、知識

【社会活動】

宮崎 健司 ミヤザキ ケンジ

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1959年11月29日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本古代宗教史

所属学会：仏教史学会、正倉院文書研究会、日本宗教学会、國書逸文研究会、日本史研究会、延喜式研究会、出雲古代史研究会、大阪歴史学会、続日本紀研究会、古代交通研究会、南都佛教研究会、日本歴史学会、史聚会、日本仏教史学会、日本歴史学協会、日本書紀研究会

【最近の業績】①奈良末・平安初期における疫神祭祀（日野昭編『日本古代の社会と宗教』所収 永田文昌堂 1996年）②光明子七七日写経をめぐる一、二の問題（『大谷学報』大谷学会 1996年）③『覚禅抄』所引『私教類聚』逸文について（『國書逸文研究』國書逸文研究会 1994年）④天平勝宝七歳における『大宝積経』の勘経（『正倉院文書研究』正倉院文書研究会 1994年）⑤藤原仲麻呂と般若心経（『史聚』史聚会

1993年)

【主な業績】①「氏神」の形成とその背景（『大谷大学大学院研究紀要』大谷大学 1987年）②奈良初期の還俗について（『仏教史学研究』仏教史学会 1989年）③天平宝字二年の写経—慈訓と慶俊をめぐって—（堅田修編『日本史における社会と宗教』所収 文栄堂書店 1991年）④光明皇后発願五月一日経の勘経について（『尋源』大谷大学国史学会 1992年）⑤法華寺の三「嶋」院について（『大谷学報』1992年）

【キーワード】法華寺、光明子、正倉院文書

【社会活動】仏教史学会委員、正倉院文書研究会委員

名畑 崇 ナバタ タカシ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1933年7月6日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本史、宗教学

所属学会：仏教史学会、真宗連合学会、日本仏教会

【最近の業績】①『豊橋別院史』（豊橋別院 1995年）②『奈良時代の僧侶と社会』（共著 雄山閣 1994年）③『歴史と信仰』（名畑崇先生還暦記念会 1993年）

【主な業績】①『伝灯の聖者—真宗七祖伝—』（平楽寺書店 1961年）②『日本浄土教史の研究』（平楽寺書店 1969年）③『本願寺の歴史』（法蔵館 1987年）

【キーワード】専修念仏、顕密仏教、在家、王権、寺社縁起、大仏・塔・城

【社会活動】

佐々木 令信 ササキ レイシン

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1942年12月21日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本仏教史学

所属学会：仏教史学会、真宗連合学会

【最近の業績】①『中右記人名索引』全二巻（臨川書店 1993年）

【主な業績】①藤原実資の仏教信仰（『論集日本仏教史』第三巻 平安時代 所収 雄山閣出版 1986年）②三国仏教史観と粟散辺土（『大系・仏教と日本人 第二巻 天皇と国家』所収 春秋社 1987年）③比叡西山麓普門寺私考—平安時代中期草創寺院の一視点—（『仏教史学研究』仏教史学会 1981年）④沙弥教信説話について（『真宗研究』真宗連合学会 1981年）⑤平安時代寺名索引—『小右記』『権記』『御堂関白記』『左経記』—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1986年）

【キーワード】平安貴族、仏教信仰、親鸞以前、日本仏教受容過程

【社会活動】京滋大学野球連盟常任理事・監事、ハレジャ基金理事、仏教史学会評議員

草野 顕之 クサノ ケンシ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1952年5月26日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本仏教史

所属学会：仏教史学会、日本史研究会、日本古文書学会、真宗連合学会、大阪歴史学会、高田学会

【最近の業績】①『真宗大谷派の荘厳全書』（四季社 1994年）②戦国期本願寺直参考（『真宗史論叢』永田文昌堂 1993年）③医王山麓における真宗の足跡（医王山文化調査委員会編『医王は語る』福光町 1993年）④蓮如の教団意識について（『仏教文化研究所紀要』龍谷大学仏教文化研究所 1992年）⑤戦国期の本願寺教団と天皇（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科 1991年）

【主な業績】①戦国期本願寺一家衆の構造（『日本の宗教と文化』同朋舎出版 1989年）②戦国期本願寺教団における年中行事の意味（『大谷学報』大谷学会 1987年）③戦国期本願寺坊主衆組織の一形態（論集『中世仏教と真宗』吉川弘文館 1985年）④本願寺教団における印判奉書の意味（『仏教史学研究』仏教史学会 1983年）⑤筑後真宗教団の構造（『真宗研究』真宗連合学会 1982年）

【キーワード】本願寺、一向一揆、蓮如

【社会活動】仏教史学会委員、日本古文書学会評議員

大桑 斉 オオクワ ヒトシ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1937年11月19日 男

出身大学：金沢大学法文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本史

所属学会：仏教史学会、日本史研究会、日本思想史学会、真宗連合学会、北陸史学会

【最近の業績】①煩惱即菩提の思想史・寛永編—『露殿物語』と『七人比丘尼』—（『大谷学報』大谷学会 1995年）②恋を煩提の橋となし—「煩惱即菩提の思想史・近松編—（『近世思想史研究の現在』思文閣出版 1995年）③江戸真宗の信仰と救済—〈いつとなしの救済〉への過程—（『江戸の思想』1 ペリかん社 1995年）④吉崎開創理念と文明五年九月御文群—『五帖御文』の思想序説—（『真宗史論叢』永田文昌堂 1993年）⑤『宮地論』の思想（『北陸社会の歴史的展開』能登印刷出版部 1992年）

【主な業績】①『日本近世の思想と仏教』（法蔵館 1989年）②近世初期民衆思想史研究—『心学五倫書』と『恨の介』—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1992年）③近世民衆仏教の形成（『日本の近世1 世界史のなかの近世』中央公論社 1991年）④『史料研究靈窓宗崔一禪と国家とキリシタン—』（同朋舎出版 1983年）⑤『寺檀の思想』（教育社 1979年）

【キーワード】仮名草子、主体性、心の思想

【社会活動】仏教史学会評議員、真宗連合学会理事

豊島 修 トヨシマ オサム

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1943年9月17日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：近世庶民生活文化史、日本宗教民俗学

所属学会：日本山岳修験学会、日本印度学仏教学会、日本宗教学会、仏教史学会、日本民俗学会、日本歴史学会、近畿民俗学会、岡山民俗学会、日本宗教民俗学研究会

【最近の業績】①庶民信仰としての黒駒太子信仰（『四天王寺』四天王寺 1995年）②五来重先生と仏教民俗学研究（『宗教民俗研究』日本宗教民俗学研究会 1995年）③熊野—他界・常世への出入口（『歴史読本』新人物往来社 1994年）④靈物変化談（『仏教民俗学大系』1 名著出版 1993年）⑤聖（ヒジリ）研究の現状と課題—最近の二、三の研究を中心に—（『宗教民俗研究』日本宗教民俗学研究会 1991年）

【主な業績】①『熊野信仰と修験道』（名著出版 1990年）②『死の国・熊野』（講談社 1992年）③仏教民俗学の諸問題（『仏教民俗学大系』1 名著出版 1993年）④熊野—信仰と修験道文学を中心に—（岩波講座『日本文学と仏教』第7巻「靈地」岩波書店 1994年）⑤北嶺修験の蓮華会と験競べ—太鼓乗り行事を中心に—（『大谷学報』大谷学会 1995年）

【キーワード】靈場、修験道、民衆、生活文化、庶民信仰

【社会活動】日本山岳修験学会理事、日本宗教民俗学研究会委員、大津市文化財専門委員、新博物館・考古資料センター専門委員会委員（大阪市教育委員会）

木場 明志 キバ アケン

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1947年6月8日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：日本史

所属学会：日本宗教学会、仏教史学会、日本道教学会、日本印度学仏教学会、日本仏教学会、日本民俗学会、日本山岳修験学会、真宗連合学会、越中史檀会、日本近代仏教史研究

会、富山民俗の会、日本宗教民俗学研究会、叡山学会、日本暦学会、説話伝承学会

【最近の業績】①近代における陰陽師のゆくえ（『大谷学報』大谷学会 1996年）②近代における日本仏教のアジア伝道（『日本の仏教・2』法蔵館 1995年）③『医王山修験から里の修験へ』（富山県福光町 1993年）④満州布教の侵略的諸相（『真宗史論叢』永田文昌堂 1993年）⑤織田信長と天正10年暦（『Museum Kyusyu』博物館等建設振興九州会議 1993年）

【主な業績】①近世土御門家の陰陽師支配と配下陰陽師（『大谷学報』1982年）②暦道賀茂家断絶の事一永禄～文禄期宮廷陰陽道の動向（『中世社会と一向一揆』吉川弘文館 1985年）③越中砺波の定着修験活動（『白山・立山と北陸修験道』名著出版 1975年）④『アジアの開教と教育』（共編著 法蔵館 1992年）⑤『陰陽道叢書・近世』（共編著 名著出版 1992年）

【キーワード】開教、真宗大谷派

【社会活動】京都西山の歴史と文化を守る会、京都洛西道路フォーラム、富山県砺波市立散村地域史研究所研究員、真宗連合学会評議員

鄭 早苗 チョン チョミョ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1944年5月20日 女

出身大学：神戸大学文学部

最終学歴：大阪市立大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程

専門分野：韓国古代史、古代日本・韓国関係史

所属学会：朝鮮学会、朝鮮史研究会、続日本紀研究会、東方学会

【最近の業績】①在日コリアン教育の推移と在日外国人教育方針・指針（『全国自治体在日外国人教育方針・指針集成』明石書店 1995年）②三国時代の王と祭祀（『青丘学術論集』韓国文化振興財団 1993年）③『周留城・百江、位置比定研究の昨今』（韓国圓光大学校・馬韓百濟文化研究所 1993年）④『韓国・朝鮮を知るための55章改訂』（明石書店 1993年）⑤古代文献と伝統文化（『アジア市民と韓朝人』日本評論社 1993年）

【主な業績】①開仙寺石燈記（『朝鮮学報』天理大学朝鮮学会 1983年）②『高句麗王系小系』（龍溪書舎 1979年）③『朝鮮三国と古代日本の文字』（塙書房 1988年）

【キーワード】高句麗、百濟、新羅、在日コリアン

【社会活動】KMJ（在日コリアン・マイノリティ）研究センター代表、大阪府外国人問題有識者会議委員、大阪府女性問題懇話会委員、(財)とよなか国際交流協会理事、アジア・太平洋人権情報センター評議員

大内 文雄 オオウチ フミオ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1947年6月1日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：東洋史

所属学会：仏教史学会、日本印度学仏教学会、東洋史研究会、日本道教学会、東方学会、日本中国学会

【最近の業績】①国家による仏教統制の過程—中国を中心に—（『シリーズ東アジアの仏教』第5巻 東アジア社会と仏教文化 所収 春秋社 1996年）②浄度三昧経：影印・翻刻・解題（『七寺古逸経典研究叢書』第2巻 中国撰述経典其之二 所収 大東出版社 1996年）

【主な業績】①安楽集に引用された所謂疑偽経典について—特に惟無三昧経・浄度菩薩経を中心として—（『大谷学報』大谷大学 1973年）②安楽集所引疑偽経典の二、三について（『大谷学報』1975年）③歴代三宝紀の一研究（『仏教史学研究』仏教史学会 1983年）④六～七世紀における四川仏教の動向—益州と綿州、及び震響寺（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科 1988年）⑤中国仏教における通史の意識—歴代三宝紀と帝王年代録—（『仏教史学研究』1990年）

【キーワード】中国仏教、歴史意識

【社会活動】

滋賀 高義 シガ タカヨシ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1932年6月27日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：明代仏教史

所属学会：日本仏教学会、日本道教学会、仏教史学会、密教図像学会、東方学会

【最近の業績】①『三朝高僧伝』管窺—習禅篇を中心として—（『大谷学報』大谷学会 1992年）②『三朝高僧伝』管窺—神異・感通篇について—（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科 1992年）

【主な業績】①『守屋孝藏氏蒐集 古経図録』（京都国立博物館 1964年）②『中国古印図録』（大谷大学 1964年）③『大谷大学所蔵 敦煌古写経』（大谷大学東洋学研究室 1965年）④『中国高僧伝索引』（平楽寺書店 1978年）⑤『仏教—流伝と変容—』（大阪書籍 1986年）

【キーワード】梁、唐、宋

【社会活動】

竺沙 雅章 チクサ マサアキ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1930年3月14日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科東洋史学専攻修士課程

専門分野：東洋史

所属学会：史学研究会、東洋史研究会、東方学会、仏教史学会、日本道教学会、日仏東洋学会、
史学会、中国文史哲研究会、中国文学会、西南アジア研究会

【最近の業績】①中国史学在日本（『文史知識』中華書局 1996年）②『門閥貴族から士大夫官僚へ』（思文閣 1995年）③新出資料よりみた遼代の仏教（『禅学研究』臨済宗大学禅学研究会 1994年）④『内律と俗法—中国仏教法制史の一考察』（京都大学人文科学研究所 1993年）⑤『漢訳大蔵經の歴史—写經から刊經へ』（大谷大学 1993年）

【主な業績】①『中国仏教社会史研究』（同朋舎出版 1982年）②『征服王朝の時代—宋・元』（講談社 1977年）③漢籍紙背文書の研究（『京都大学文学部研究紀要』京都大学文学部 1973年）④『宋の太祖と太宗—変革期の帝王たち』（清水書院 1975年）⑤『范仲淹』（白帝社 1995年）

【キーワード】宋元、宗教、文化

【社会活動】京都府船井郡瑞穂町文化財保護委員、東洋史研究会評議員、東方学会常務理事、
仏教史学会会長、日本道教学会理事、日仏東洋学会評議員

安藤 智信 アンドウ トモノブ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1936年1月20日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：中国仏教史

所属学会：仏教史学会、印度学仏教学会、東洋史研究会、東方学会、道教学会

【最近の業績】

【主な業績】①仏日明教契嵩伝私考（『大谷大学研究年報』大谷学会 1977年）②北宋期における陰陽家の吉凶禍福説と仏教（『大谷学報』大谷学会 1984年）③蓮宗宝鑑管窺（『大谷学報』1980年）④蓮宗宝鑑の研究（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1985年）⑤宝頂山石刻研究序説（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科1988年）

【キーワード】

【社会活動】仏教史学会評議員

藤島 建樹 フジシマ タテキ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1936年10月31日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：中国征服王朝史

所属学会：仏教史学会、東方学会、東洋史研究会、日本道教学会

【最近の業績】①元朝治下華北の寺院—真定・龍興寺の場合—（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科 1988年）

【主な業績】①元朝「宣政院」考—その二面的性格を中心として（『大谷学報』大谷学会 1967年）②元の集賢院と正一致（『東方宗教』日本道教学会 1971年）③元朝治下における漢人一族の歩み（『大谷学報』1986年）④全真教の展開—モンゴル政権下の河東の場合—（『道教と宗教文化』平河出版社 1987年）

【キーワード】征服王朝、元帝国、宗教政策

【社会活動】仏教史学会評議員、東方学会地区委員、東洋史研究会評議員

桂華 淳祥 ケイカ アツヨン

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1952年2月20日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：東洋史

所属学会：東方学会、東洋史研究会、仏教史学会、日本道教学会、日本印度学仏教学会

【最近の業績】①地方志に記載される庵の記録よりみた明清仏教—浙江地方を中心に—（『大谷学報』大谷学会 1995年）②『明清時代における宗教と地域社会—浙江地方志・寺観名索引—』（平成5年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書 1994年）③明末杭州の雲棲寺に関する覚え書き—地方志の記述を中心に—（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1993年）④東本願寺の中国華北地域における開教活動—1939年の状況—（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』1992年）⑤中国華北地域における仏教団体の様相—1941年刊『第一次華北宗教年鑑』の記録から—（『龍谷大学仏教文化研究所紀要』1992年）

【主な業績】①金朝の寺観名額発売と郷村社会（『大谷大学史学論究』大谷大学文学部史学科 1989年）②中国における真宗大谷派開教（『アジアの開教と教育』法蔵館 1992年）③金明昌元年建「西京普恩寺重修釋迦如来成道碑」について—金代仏教史の一側面—（『大谷学報』1985年）④『浄土の古刹玄忠寺』（共訳 真宗大谷派宗務所出版部 1989年）⑤真定府獲鹿縣靈巖院について—金代買額寺院の形態—（『大谷学報』1988年）

【キーワード】中国、宗教史、地域社会

【社会活動】

新村 祐一郎 シンムラ ユウイチロウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1932年12月7日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科西洋史学専攻博士課程

専門分野：西洋古代史

所属学会：日本西洋史学会、日本西洋古典学会、史学研究会、史学会

【最近の業績】①紀元前の成立（『大谷学報』大谷学会 1995年）②ドリス人の侵入をめぐる二、三の問題（『大谷大学研究年報』大谷学会 1994年）③クレオメネス一世とその時代（『大谷学報』1989年）

【主な業績】①スパルタのエポロイ（『西洋史学』日本西洋史学会 1963年）②スパルタの Great Rhetra に関する二、三の問題（『西洋古典学研究』日本西洋古典学会 1964年）③スパルタの二王制をめぐる二、三の問題（『史林』史学研究会 1965年）④第2メッセニア戦争とスパルタ（『西洋古典学研究』1973年）⑤紀元前六世紀後半期スパルタの対外政策（『大谷大学研究年報』1983年）

【キーワード】ドリス人、ポリス、平等者

【社会活動】

島田 正彦 シマダ マサヒコ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1930年10月14日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程

専門分野：人文地理学、漁業経済学

所属学会：人文地理学会、歴史地理学会、史学研究会、地域漁業学会、漁業経済学会、北日本漁業経済学会、日本カナダ学会（国際カナダ学会連合）

【最近の業績】①ルイジアナ州南部のケージャン—その環境と経済生活、社会・文化—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1996年）②中・近世の北陸道（島田正彦他編『北陸道の景観と変貌』古今書院 1995年）③若狭の漁業（島田正彦他編『同前書』1995年）④総合都市へ脱皮する「福井」（山田安彦・山崎謹哉編『歴史の古い都市郡・5—北陸と信州の都市』大明堂 1993年）⑤ニューファンランドのフレンチショア—歴史的漁業権の古典例（『西日本漁業経済論集』西日本漁業経済学会 1990年）

【主な業績】①漁業不振と奥丹後漁村—広がる機業兼業をめぐる—（『人文地理』人文地理学会 1968年）②アカディア人の追放—その地理的諸相（水津一朗先生退官記念事業会編『人文地理学の視圏』所収 大明堂 1986年）③19世紀ニューファンランドの経済と社会（日本カナダ学会編『カナダ研究の諸問題』日本カナダ学会 1987年）④ジョージスバンクの漁業と米加境界紛争—流産した東岸漁業条約をめぐる—（『漁業経済研究』1987年）⑤越前海岸の二つの漁村（浮田典良編『日本の農山漁村とその変容』大明堂 1989年）

【キーワード】漁業、漁村、カナダ

【社会活動】地域漁業学会理事

石橋 義秀 イシバシ ギシュウ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1943年8月1日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：国文学

所属学会：仏教文学会、説話伝承学会、説話文学会、全国大学国語国文学会、中世文学会、日本
仏教学会、日本印度学仏教学会

【最近の業績】①仏教文学研究文献目録・仏教文学研究書目録（『仏教文学講座・第九巻』勉誠社
1994年）②成意往生説話の周辺（『叡山の和歌と説話』世界思想社 1991年）

【主な業績】①『今昔物語集』における出家・遁世（『大谷学報』大谷学会 1987年）②『今昔
物語集』における修行者の諸相（『大谷大学研究年報』大谷学会 1984年）③『今昔
物語集』巻十五の再検討（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1982年）④『今昔物
語集』の悪人往生説話（『大谷学報』1981年）

【キーワード】説話、仏教、信仰

【社会活動】仏教文学会委員、説話伝承学会常任委員、説話文学会委員

赤瀬 知子 アカセ トモコ

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1955年2月20日 女

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科国語学国文学専攻博士課程

専門分野：和歌文学

所属学会：和歌文学会、中古文学会

【最近の業績】①篁園文庫旧蔵『伊勢物語註』翻刻と解題（一）（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1995
年）、（二）（『文芸論叢』1996年）②『百人一首聞書（京大本）』（赤瀬他共編『百
人一首注積書叢刊』2 和泉書院 1995年）③網野善彦他編『日本史大辞典』（7
項目執筆 平凡社 1994年）④『反故抜書』解題と翻刻（『文芸論叢』1993年）⑤名
所近道和歌（『文芸論叢』1992年）

【主な業績】①院政期の古今集序注と日本書記注積書一勝命『真名序注』を中心に—（『文芸論
叢』1988年）②宗祇『浅茅』と『名所和歌抄出』（『文芸論叢』1987年）③『俊頼
髓脳』における享受と諸本—諸本論のための試論—（『国語国文』京都大学文学部
国語学国文学研究室 1982年）④『内裏名所百首 曼殊院蔵』（『京都大学国語国文
資料叢書』臨川書店 1983年）⑤『内裏名所百首注 疎竹文庫蔵』（『京都大学国語
国文資料叢書』1982年）

【キーワード】歌学、享受史、名所歌集

【社会活動】

沙加戸 弘 サカド ヒロム

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1946年9月5日 男

出身大学：滋賀大学教育学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：国文学

所属学会：全国大学国語国文学会、日本近世文学会、仏教文学会

【最近の業績】 ①『魚太平記—校本と研究—』（共編 勉誠社 1995年）②竹本筑後掾本『信田小太郎』—八行本と絵入十七行本—（『大谷学報』大谷学会 1994年）③西教寺と角太夫—『大念仏七万日詣』をめぐって—（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1993年）

【主な業績】 ①近松と「王舎城の悲劇」—特に『女殺油地獄』を中心として—（『文学・語学』全国大学国語国文学会 1975年）②古浄瑠璃『他力本願記』の性格—主人公をめぐって—（『滋賀大国文』滋賀大國文会 1976年）③平太郎伝の展開—浄瑠璃を中心として—（『大谷学報』1978年）④豊竹座における真宗関係浄瑠璃の継承—『華和讃新羅源氏』の成立—（『文芸論叢』1985年）⑤寛文の真宗関係浄瑠璃—出羽や播磨の語草—（『大谷大学真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1990年）

【キーワード】 仏教、浄瑠璃、展開

【社会活動】

喜多川 恒男 キタガワ ツネオ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1930年5月15日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学文学部文学科国語国文学専攻

専門分野：国文学

所属学会：日本社会文学会、仏教文学会、民友社文学研究会

【最近の業績】 ①坂口安吾の評価—その生と思想—（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1993年）②明治四十年代の鷗外（『大谷学報』大谷学会 1989年）③外村文学と浄土思想（『大谷大学真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1986年）④明治四十二年の荷風（『文芸論叢』1986年）⑤井上靖試論のためのノート—詩集『北国』の詩語について—（『文芸論叢』1983年）

【主な業績】 ①『門』について—自己感情の抑制—（『国語国文』高野山大学国文学会 1976年）②彼岸過迄考—おもしろさの舞台装置—（論集『日本文学・日本語5』現代刊行委員会編 角川書店 1958年）③「関東大震災」と荷風（『文芸論叢』1980年）④生命の饗宴（分担執筆『二十世紀の日本文学』白地社 1995年）

【キーワード】 日本近現代文学、漱石、鷗外、荷風

【社会活動】

荒井 とみよ アライ トミヨ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1939年2月5日 女

出身大学：奈良女子大学文学部

最終学歴：

専門分野：国文学

所属学会：日本社会文学会、仏教文学会、日本女性学会

【最近の業績】①岡本かの子という工房—ふたたび『生々流転』をめぐって—（『大谷学報』大谷学会 1995年）②宮本百合子『婦人と文学』をめぐって（『社会文学』日本社会文学会 1993年）③女主人公の不機嫌（4）—自然派は妻をいかに描いたか—（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1993年）

【主な業績】①事業への理想と情熱・鈴木よね（『近代日本の女性史・第6巻』集英社 1981年）②『青鞥』の人々（『母性を問う・下・母性意識のめざめ』人文書院 1985年）③ひとつの定点観測（『日本女性生活史・5・女子教育の位置』東京大学出版会 1990年）

【キーワード】女性、教育

【社会活動】

西田 良子 ニシダ ヨシコ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1931年2月5日 女

出身大学：熊本大学法文学部

最終学歴：早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程

専門分野：国文学

所属学会：日本児童文学学会、宮澤賢治学会

【最近の業績】①童話作家としての山村暮鳥（日本児童文学学会編『日本のキリスト教児童文学』国土社 1995年）②賢治と南吉の〈接点〉と〈分岐点〉（日本児童文学者協会編『賢治 vs. 南吉』文溪堂 1994年）③風の又三郎—日本児童文学史の視点—（『国文学解釈と鑑賞』至文堂 1993年）④児童文学にみる《家族》《家庭》の変遷（『日本児童文学』日本児童文学者協会 1993年）

【主な業績】①『現代日本児童文学論』（櫻楓社 1980年）②『宮澤賢治論』（櫻楓社 1981年）③『日本児童文学研究』（牧書店 1974年）④『宮澤賢治・その独自性と同時代性』（翰林書店 1995年）

【キーワード】日本文学、児童文学

【社会活動】日本児童文学学会理事、宮澤賢治学会イーハトーブセンター理事、高槻文化振興事業団理事

片岡 了 カタオカ オサム

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1935年6月19日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：仏教説話集・中世法語の研究

所属学会：国語学会、仏教文学会、訓点語学会

【最近の業績】①第六天魔王の説話（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1995年）②『西行物語』の伊勢参宮記事（『国語国文』高野山大学国文学会 1994年）③『御文』の文体（『大谷学報』大谷学会 1993年）

【主な業績】①『大谷大学本節用集研究並びに総合索引』（勉誠社 1982年）②恵信尼「仮名写経」の字音（『国語学』国語学会 1964年）③中世における「シム」の一用法（『大谷学報』1965年）

【キーワード】仏教説話、中世、法語

【社会活動】

若槻 俊秀 ワカツキ トシヒデ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1941年9月14日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大阪大学大学院文学研究科中国哲学・哲学史専攻博士課程

専門分野：中国哲学

所属学会：日本中国学会、東方学会、日本道教学会、全国漢文学会

【最近の業績】①論語「民可使由之不可使知之」章解釈私攷（『大谷学報』大谷学会 1996年）②朱子における韓愈（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1994年）

【主な業績】①永嘉の乱の思想史的意義—士大夫の仏教受容—（『待兼山論叢』4 大阪大学 1971年）②唐代儒教の一考察—孔子の苗裔を通してみた—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1971年）③劉孝標の思想—六朝貴族社会における一寒門人の在り方—（『文芸論叢』1974年）④中国における隠者観の変遷（『文芸論叢』1977年）⑤太宰春台の聖人信仰（『文芸論叢』1982年）

【キーワード】儒教、仏教、道教

【社会活動】日本道教学会理事、全国漢文学会評議員

河内 昭円 カワチ ショウエン

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1938年8月16日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：中唐の文学

所属学会：日本中国学会、日本道教学会、東方学会、日本漢文教育学会

【最近の業績】①『三教指帰』偽撰説の提示（『大谷大学研究年報』大谷学会 1994年）②詩僧皎然の仏教（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1994年）③『皎然集』と賛寧（『大谷学報』大谷学会 1993年）

【主な業績】①「澈上人文集序」管窺—詩僧靈澈の生涯—（『大谷大学研究年報』1974年）②詩僧靈一について（上）・（下）（『文芸論叢』1975、76年）③詩僧文暢に関する二三の問題（『西山学報』西山短期大学 1976年）

【キーワード】詩僧、靈一、皎然

【社会活動】

佐藤 義寛 サトウ ヨシヒロ

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1958年12月19日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：中国文学、和漢比較文学

所属学会：日本中国学会、比較文学会

【最近の業績】①中国吉祥物考（一）—松に鶴—（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1996年）②李華の釈教牌について（『文芸論叢』1995年）③『三教指帰注集』引書考・其の一—『文選』『昭明抄』『雕龍策』『仲尼遊方同問録』—（『文芸論叢』1995年）④三教指帰注集 貴重資料紹介（図書館報『書香』大谷大学図書館 1994年）

【主な業績】①『大谷大学所蔵『三教指帰注集』の研究』（大谷大学 1992年）②『三教指帰成安注』の写本三種について（『文芸論叢』1990年）③昭明太子蕭統と仏教（『西山学報』1992年）

【キーワード】空海、文選、三教指帰

【社会活動】

李 青 リ セイ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1963年10月21日 女

出身大学：首都師範大学日本語学科

最終学歴：立命館大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程

専門分野：中国語の教育法、「満洲」文学

所属学会：日本中国学会、東方学会、日本社会文学会

【最近の業績】①梁山丁の歩み（上）（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1996年）②日本人が描いた日中戦争—火野葦平の『麦と兵隊』を通じて—（芦谷信和先生退職記念論集『立命館文学』1995年）③「満洲文学」の一側面—梁山丁の『緑の谷』を通じて—（『大

谷学報』大谷学会 1995年)

【主な業績】①『日中比較文学試論—二つの自然主義』(『松阪政経研究』松坂大学 1992年) ②『若い世代の中国語』(晃洋書房 1992年) ③『しなやかに中国語』(同学社 1992年) ④『北京恋情』(同学社 1993年) ⑤『パノラマ中国語—中国語中級テキスト』(朋友書店 1993年)

【キーワード】淪陥期文学、芸文志派、「満洲」文学

【社会活動】

渡部 洋 ワタナベ ヒロシ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1960年10月3日 男

出身大学：大阪外国語大学

最終学歴：大阪市立大学大学院文学研究科中国語中国文学専攻博士課程

専門分野：中国語、近世の中国語文法

所属学会：日本中国語学会、日本中国学会、中国近世語学会、大阪市立大学中国学会、大谷大学文藝学会

【最近の業績】①『劉知遠諸宮調』的語法特徴 (『中国学志』大阪市立大学中国学会 1991年) ②宋金時に於ける南北の動補構造形式についての一考察 (『文藝論叢』大谷大学文芸学会 1994年)

【主な業績】①『劉知遠諸宮調語彙索引』(好文出版 1996年)

【キーワード】中国近世語、劉知遠諸宮調、語法

【社会活動】

内藤 史朗 ナイトウ シロウ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1933年11月4日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学文学部

専門分野：英語・英米文学、音声学

所属学会：日本英文学会、日本イェイツ協会、日本言調聴覚論協会

【最近の業績】①W. B. Yeasts's Duplication: Plotinus and Daisetz Suzuki (『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1994、95年) ②訳「ちんちん小祿」(ラフカディオ・ハーン原著) (『日本児童文学名作集』岩波文庫 1994年) ③「イェイツの仮面における遠心と求心」(佐野哲郎編『豊穡の風土—現代アイルランド文学の群像—』山口書店 1994年) ④初期イェイツの仮面とアイデンティティ—後期の作品に論究して— (『大谷大学研究年報』大谷学会 1993年)

【主な業績】①『イェイツと禅—彼の仮面の変貌の研究—』(本文英文) (山口書店 1983年) ②『イェイツの顕現—最後の仮面を求めて—』(本文英文) (山口書店 1990年)

③『W. B. イェイツ論—仮面の変貌—』(原題)(本文日本文)(南雲堂 1978年) ④
訳書 ラスキン『芸術教育論』(明治図書 1969年) ⑤訳書 モリス『民衆のため
の芸術教育』(明治図書 1971年)(両訳書は、ぎょうせい出版刊の「世界教育学名
著選」に収められた)

【キーワード】英詩、アイルランド文学、シェイクスピア

【社会活動】京都難聴者後援会顧問、日本イェイツ協会委員、日本言調聴覚論協会理事

多田 稔 タダ ミノル

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：LHD

生年月日/性別：1931年1月1日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科英文学専攻(旧制大学院)

専門分野：英語・英米文学

所属学会：日本英文学会、大学英語教育学会、Modern Language Association、国際応用言語学
会、ウィリアム・モリス協会、東京ラスキン協会、国際東西宗教交流学会、国際真宗
学会、IASAIL(国際アイルランド文芸協会)、イェーツ協会、京大英文学会、LLA
(ランゲージラボラトリー学会)、ソーロー学会、アメリカ文学会、ソール・ペロー
学会、EBS(東方仏教徒協会) *The Eastern Buddhist*

【最近の業績】①ジョージ・メレディス『リチャード・フィーバレルの試練』(共訳 英潮社
1993年) ②東と西の「笑い」の哲学：夏目漱石とジョージ・メレディス(『大谷学
報』大谷学会 1993年) ③メアリ・コラム『伝統と始祖たち—近代文学を造った諸
思想』(共訳 あぼろん社 1994年) ④ウィリアム・モリス覚え書(平成6年度科
学研究費補助金報告書) ⑤Shakespeareの宗教(『西洋文学研究』大谷大学西洋文
学研究会 1993年)

【主な業績】①『仏教東漸：太平洋を渡った仏教』(禅文化研究所 1990年) ②ジリアン・ネイ
ラー『ウィリアム・モリス』(監修・翻訳 講談社 1990年) ③リンダ・パリー『ウ
ィリアム・モリスのテキスタイル』(共訳 岩崎美術社 1988年) ④ハーバート・
リード『今日の美術』(共訳 新潮社 1974年) ⑤ハーバート・リード『若い画家
への手紙』(共訳 新潮社 1972年)

【キーワード】小芸術、喜劇的叙事詩、西洋文学における東洋思想の受容、異文化理解

【社会活動】東方仏教徒協会誌編集委員、英検審査委員、国際真宗学会評議員

米本 義孝 ヨネモト ヨシタカ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1941年4月1日 男

出身大学：立命館大学経済学部および立命館大学文学部

最終学歴：立命館大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程

専門分野：英文学

所属学会：日本英文学会、日本ジェイムズ・ジョイス協会

【最近の業績】①『読解「ユリシーズ」』（研究社出版 1996年）②*The Waste Land* における喜劇性（『英文学研究』日本英文学会 1996年）③ジェイムズ・ジョイスの「痛ましい事件」（『信州大学教養部紀要』信州大学教養部 1989年）④*Dubliners* の決定版（1）（2）（『英語青年』研究社出版 1988年）⑤*The Waste Land* における内容と形式—タイピスト挿話を中心にして（『英文学研究』1987年）

【主な業績】①T.S. Eliot and His Theory of Impersonality（『愛知大学文学論叢』愛知大学文学会 1972年）②W. Faulkner における balance—〈As〉 I 〈Lay〉 〈Dying〉 について（『愛知大学文学論叢』愛知大学 1974年）③T.S. Eliot における地方性（『外国文学研究』立命館大学人文科学研究科 1977年）④ビートルズの詩の世界（1）（2）（『英語青年』1978年）⑤『J. アルフレッド・ブルーロックの恋歌』試論（『中部英文学』日本英文学会中部地方支部 1980年）

【キーワード】

【社会活動】

鈴木 繁一 スズキ シゲカズ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1945年1月10日 男

出身大学：京都大学文学部および経済学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科英語学英米文学専攻修士課程

専門分野：イギリス小説、英語教育

所属学会：日本英文学会、日本英語教育学会、京大英文学会

【最近の業績】①大学英語教育における四技能—授業活動と教育体制—（『大谷学報』大谷学会 1993年）

【主な業績】①イーヴリン・ウォーにおける滑稽と諷刺（『島根大学文理学部紀要文学科編』島根大学文理学部文学科 1975年）②*Black Mischief* について（『島根大学法文学部紀要文学科編』島根大学法文学部文学科 1981年）③『一握の塵』とブラジルへの旅（『大谷学報』1983年）

【キーワード】英文学、Waugh、英語教育

【社会活動】

WADDELL Norman ワデル ノーマン

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1940年3月15日 男

出身大学：カリフォルニア大学バークレー校文学部

最終学歴：カリフォルニア大学バークレー校文学部

専門分野：英米文学・日本仏教文化

所属学会：Eastern Buddhist Society

【最近の業績】①Zen Words for the Heart 〈毒語心経・白隠〉(Shambhala, Boston 1996年)
②The Essential Teachings of Zen Master Hakuin 〈白隠禅師の「息耕録開延普説」〉
(Shambhala, Boston 1994年)

【主な業績】①Unborn: The Life and Teachings of Zen Master Bankei 〈盤珪禅師の不生禅
(North point Press, Berkeley) 1984年〉②Japanese Spirituality 〈日本的靈性—鈴木
大拙—(Japanese Unesco Committee) 1970年〉③竹筒に落ちた蛇の問題(『理想』
1976年)④オルフェウス神話を題材にした中世詩「サー・オルフェオ」について
(『西洋文学研究』第2号 1981年)

【キーワード】葛藤窟裡

【社会活動】

村瀬 順子 ムラセ ヨリコ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1954年2月23日 女

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程

専門分野：英語・英米文学

所属学会：日本英文学会、京大英文学会、日本ハーディ協会、日本ブロンテ協会、MLA

【最近の業績】①Jane Eyre と Maggie Tulliver—ふたつの女性像をめぐる—(『英文学会会報』
大谷大学英文学会 1995年)②Jane Eyre 再考—Jane の闘いが意味するもの—(『大
谷学報』大谷学会 1994年)

【主な業績】①書簡体小説と批評—『クラリッサ』の場合—(朝日出版社 1991年)②エミリ・
ブロンテの詩—『嵐ヶ丘』への道—(『大谷学報』1987年)③マシュー・アーノル
ドの宗教観—〈Culture & Anarchy〉から〈Literature & Dogma〉—への展開—(『大
谷大学真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1988年)④Discourse and
Power in *Clarissa* (『アルビオン』京大英文学会 1990年)⑤ミュリエル・スパー
クの小説再考—虚構性と宗教意識をめぐる—(『西洋文学研究』大谷大学西洋文
学研究会 1987年)

【キーワード】小説、リアリズム、書簡体

【社会活動】

築山 修道 ツキヤマ シュウドウ

所属/職：大谷大学文学部 助教授

生年月日/性別：1943年12月1日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程

専門分野：宗教哲学、比較思想、英語・英文学

所属学会：日本宗教学会、比較思想学会、キェルケゴール協会、大学英語教育学会、関西哲学会、国際真宗学会

【最近の業績】①E.M. Forster の「文学・芸術観」管見（『英文学会会報』大谷大学英文学会 1994年）②With What Language and How Do Wordsworth and Keats Express Their Experiences in Poetry?（『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1994年）

【主な業績】①田辺元の「懺悔道としての哲学」とキェルケゴールの実存思想（『キェルケゴールと日本の仏教・哲学』所収 東方出版 1992年）②キェルケゴールの実存思想に対する西田哲学と田辺哲学（『キェルケゴール研究』創文社 1991年）③「自己」究明をめぐる東西の宗教思想—西田幾多郎とキェルケゴール（一）—（『比較思想研究』日本比較思想学会 1987年）④キェルケゴールにおける人間実存と不安（『キェルケゴール研究』1985年）⑤E.M. フォースターの小説における大地・自然の意味するもの—『ハワーズ・エレド』を中心として—（『西洋文学研究』1992年）

【キーワード】自己、宗教、哲学、人間、自然、文化

【社会活動】

大河内 了義 オオコウチ リョウギ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：文学博士

生年月日/性別：1930年6月24日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：京都大学大学院文学研究科ドイツ文学専攻修士課程

専門分野：独語・独文学、比較思想

所属学会：日本ドイツ文学会、比較思想学会、Zürcher Gespräche

【最近の業績】①異文化としての宗教理解（季刊『仏教』法蔵館 1996年）②比較文化論への試み—ドイツ語文化圏における体験をもとに（『大谷大学研究年報』大谷学会 1993年）③思想家の素顔—ヤスパース、ハイデガー、レーヴィト、アーレント（『哲学論集』大谷大学哲学会 1991年）

【主な業績】①『ニーチェと佛教—根源的ニヒリズムの問題』（法蔵館 1983年）②『自然—くじねん』の復権—ニーチェの科学批判と親鸞の自然法爾』（毎日新聞社 1985年）③Nachwort zu einer deutschen Übersetzung von Watsuji Tetsuro: “FŪDO”（『大谷学報』大谷学会 1991年）④Wie man wird, was man ist—Gedanken zu Nietzsche aus östlicher Sicht（Wissenschaftliche Buchgesellschaft, Darmstadt 1995年）⑤『異文化理解の原点』（法蔵館 1995年）

【キーワード】日・独、文化、比較

【社会活動】

友田 孝興 トモダ タカオキ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1943年2月17日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：学習院大学大学院人文科学研究科ドイツ文学専攻修士課程

専門分野：独文学

所属学会：日本独文学会、日本ゲーテ協会、ドイツ文化・社会史学会

【最近の業績】①ゲーテの宗教的世界（『大谷学報』大谷学会 1996年）②『ドイツ語の翼にのって—ドイツ語初級文法—』（白水社 1995年）③『ゲーテにおける芸術と科学の関係』（文栄堂書店 1990年）④Goetes „gegenständliche Dichtung“ und die Rezeption der indischen Literatur（『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1988年）⑤シラーにおける人間性の完成としての美（『哲学論集』大谷大学哲学学会 1988年）

【主な業績】①『エルンスト・カッシーラー「ゲーテと十八世紀」』（文栄堂書店 1990年）②『エルンスト・カッシーラー「ゲーテとプラトン」』（文栄堂書店 1991年）③『東西文学の世界』（朝日出版社 1991年）④ゲーテにおける詩と根源現象（日本ゲーテ協会『ゲーテ年鑑』1981年）⑤リルケにおける死の問題（『大谷学報』1986年）

【キーワード】苦悩と歓喜、ドイツ古典主義、ゲーテの救済観、文学における生と死、美と自由

【社会活動】

禿 憲仁 カムロ ケンジン

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1947年8月19日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：関西学院大学大学院文学研究科ドイツ文学専攻修士課程

専門分野：独語・独文学

所属学会：日本独文学会、日本ゲーテ協会、日本独文学会京都支部会

【最近の業績】①トーマス・マンにおけるパロディの意味（『大谷大学研究年報』大谷学会 1988年）

【主な業績】①若きトーマス・マンのイロニーに関する一考察（『大谷学報』大谷学会 1976年）②トーマス・マンの『選ばれし人』について（『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1980年）③トーマス・マンの『すげかえられた首』素材研究（『哲学論集』大谷大学哲学学会 1981年）④トーマス・マンのモーセ物語『掟』に関する覚え書き—モーセ像を中心に—（『西洋文学研究』1984年）

【キーワード】イロニー、パロディ、フモール

【社会活動】

DECKE-CORNILL Albrecht デッケ・コルニル アルブレヒト

所属/職：大谷大学文学部 助教授

学位：Dr.phil.

生年月日/性別：1950年8月10日 男

出身大学：ベルリン自由大学

最終学歴：ベルリン自由大学大学院文学研究科ドイツ文学専攻

専門分野：ドイツ文学・哲学

所属学会：日本独文学会

【最近の業績】①日本の大学における社会化への過程 (Harmonie und Konformität. Hrsg. von Agi Schröder-Lenzen. Iudicium Verlag, München 1996年) ②Endzeitstimmung 黙示録的幻想の心理に寄せて (『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1995年)

【主な業績】①デューラー「メレンコリアI」の謎 (『大谷学報』大谷学会 1993年) ②抑圧的自律 カントの道德哲学の注解 (『金沢大学文学部論集』1990年) ③破滅と自己主張 ジャン・パウルにおける自意識の問題性についての考察 (Königshausen+Neumann, Würzburg 1987年)

【キーワード】人間学

【社会活動】

加来 一丸 カク ヒトマル

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1936年3月15日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学文学部

専門分野：仏語・仏文学

所属学会：日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会、大谷学会

【最近の業績】①ことばの華と沈黙の美学—フランス式と日本風— (『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1993年)

【主な業績】①M. ブルーストの植物描写について (『大谷学報』大谷学会 1972年) ②Sur la conversation—à la française et à la japonaise (スタジュールとして留学中のパリ第三大学 (Univ. de Paris III) でフランス語で口頭発表 1978年) ③スタンダール『エルネスチヌ』の樹木崇拜について (『西洋文学研究』1980年) ④ジョルジュ・サンドの『田園小説』を読む (『西洋文学研究』1984年) ⑤回想の詩人・ウジェーヌ・フロマンタンの風景画 (『西洋文学研究』1989年)

【キーワード】テキストの快楽、フランス十九世紀小説、自然感情

【社会活動】

並木 治 ナミキ オサム

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1947年3月30日 男

出身大学：早稲田大学第一文学部

最終学歴：早稲田大学大学院文学研究科フランス文学専攻修士課程

専門分野：仏語仏文学

所属学会：日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会、日本18世紀学会

【最近の業績】①ルソーにおける「契約」の観念をめぐる（口頭発表『大谷学報』大谷学会 1996年）②『コペルニクスも変えなかったこと—行動生物学的恋愛論—』（法政大学出版局 1994年）③『新エロイズ』における自然のイメージをめぐる（『大谷学報』1994年）④暮らしてみたアルザス（『フランス語マガジン』三修社 1992年）

【主な業績】①ルソーにおける「理性」の問題（『フランス語・フランス文学研究』日本フランス語・フランス文学会 1977年）②『フランス語レクチュール』（駿河台出版社 1983年）③『アランとルソー—教育哲学試論—』（法政大学出版局 1989年）④『ディプロス・フランス語会話マニュアル』（朝日出版社 1989年）⑤『ジャン=ジャック・ルソー—政治思想と文学—』（早稲田大学出版部 1993年）

【キーワード】ルソー、文体、18世紀

【社会活動】

番場 寛 バンバ ヒロシ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1953年4月28日 男

出身大学：中央大学文学部

最終学歴：中央大学大学院文学研究科フランス文学専攻博士課程

専門分野：仏語・仏文学、精神分析

所属学会：日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会

【最近の業績】①他者の欲望—ジャック・ラカンの欲望の理論—（『大谷学報』大谷学会 1995年）②メタ言語への夢と反復—ラカンの「『盗まれた手紙』についてのゼミナール」の読みを巡って—（『フランス文学研究』室井庸—中央大学教授退職記念論文集編集委員会 1994年）③ラカンとクリステヴァにおける「モノ」(la Chose) の概念について（『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1993年）④イジドル・デュカスの手紙、マルドロールの手紙（『中大仏文研究』中大仏文研究会 1991年）⑤イジドル・デュカス『ポエジー』の連続性と不連続性—『ポエジー』を読む（2）—（『中大仏文研究』1990年）

【主な業績】①Lautréamont における intertextualité（テキスト担互関連性）について—POÉSIES II における2つのパロディについて—（『秋山晴夫・中央大学教授退職記念論文集』秋山晴夫中央大学教授退職記念論文集編集委員会 1980年）②イジドル・デュカスの「否定 (dénégation)」について（『法政大学教養部紀要外国語学・外国文学編』1990年）③ジュリア・クリステヴァの「異質性」(étrangeté) の概念について（『法政大学教養部紀要外国語学・外国文学編』1991年）④La négativité de Lautréamont (La logique de Lautréamont)（パリ第7大学 D.E.A 論文 1986年）⑤ラカンのシニフィアン概念について（『中大仏文研究』1989年）

【キーワード】ラカン、クリステヴァ、精神分析、ロートレアモン

【社会活動】

櫛原 孝 クシハラ タカシ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1933年5月1日 男

出身大学：京都大学文学部

最終学歴：京都大学文学部

専門分野：言語学

所属学会：日本言語学会、日本国語学会、大谷学会

【最近の業績】

【主な業績】 ①ゲルマン祖語の具体的措定方法について（継起的跡づけへの試み）（『大谷学報』大谷学会 1981年）②ロマンス祖語の措定方法について I（方法論）（『西洋文学研究』大谷大学西洋文学研究会 1982年）③ロマンス祖語の措定方法について II（具体的例証）（『西洋文学研究』1983年）

【キーワード】 比較方法、ゲルマン祖語、ロマンス祖語

【社会活動】

岩田 宗一 イワタ ソウイチ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1933年10月29日 男

出身大学：京都市立音楽短期大学

最終学歴：佛教大学仏教学部仏教文化

専門分野：仏教音楽（音楽学）

所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、楽劇学会

【最近の業績】 ①『仏教音楽辞典』（法蔵館 1995年）

【主な業績】 ①『声明関係資料年表』（平楽寺書店 1974年）②『声明大系』（法蔵館・日本コロムビア 1984年）③声明の音組成に関する一考察—天台声明を中心として—（『日本・東洋音楽論考』東洋音楽学会 1969年）④声明の旋律法（『大谷大学研究年報』大谷学会 1984年）

【キーワード】 声明用心集、声明、仏教音楽

【社会活動】 東洋音楽学会地区委員会

豊住 征子 トヨスミ マサコ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1943年4月13日 女

出身大学：京都市立音楽短期大学声楽科

最終学歴：愛知県立芸術大学音楽学部研究科

専門分野：声楽

所属学会：日本声楽発声学会、日本声楽発声学会関西支部

【最近の業績】 ①人間ユリエ・キルピネンと彼の作品（『大谷学報』1994年）

【主な業績】①人間キルピネンと彼の歌曲芸術における基本的スタイル (『大谷学報』1988年)

【キーワード】

【社会活動】関西・日本フィンランド協会会員

岡崎 紀子 オカザキ ノリコ

所属/職：大谷大学短期大学部 助教授

生年月日/性別：1941年2月12日 女

出身大学：平安女学院短期大学保育科

最終学歴：平安女学院短期大学保育科

専門分野：美術・絵画

所属学会：

【最近の業績】

【主な業績】①銅版画個展 (シリーズ インド旅情 1995年) ②陶器個展 (陶版・陶花 1995年)
③閨秀画家 (1988年) ④猫とレンブラントと銅版画 (1981年)

【キーワード】

【社会活動】

日下部 有信 クサカベ アリノブ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：理学博士

生年月日/性別：1931年4月1日 男

出身大学：京都大学理学部

最終学歴：京都大学理学研究科植物学博士

専門分野：生態

所属学会：日本生態学会、日本植物学会、日本陸水学会、日本藻類学会

【最近の業績】①佐津川水系 (兵庫県) の藻類 (『兵庫県内水圏環境調査報告書』兵庫県 1995年)
②付着藻類の現存量による河川の評価 (『大谷学報』大谷学会 1995年) ③竹野川
水系 (兵庫県) の藻類 (『兵庫県内水圏環境調査報告書』1994年)

【主な業績】①Ecological Study on Epiphytic Algae in Lake Biwa (『琵琶湖研究モノグラフ4』
滋賀県琵琶湖研究所 1988年) ②本邦5河川およびびわ湖における付着藻類の生態
学的研究 (『大谷大学研究年報』大谷学会 1974年) ③琵琶湖の付着藻類群落の発
達と季節変化 (『大谷学報』1989年)

【キーワード】淡水、藻類、生態

【社会活動】

加藤 尚子 カトウ ヒサコ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

学位：理学博士

生年月日/性別：1944年5月4日 女

出身大学：奈良女子大学理学部

最終学歴：京都大学大学院理学研究科植物学専攻博士課程

専門分野：分子生物学

所属学会：日本分子生物学会、日本遺伝学会

【最近の業績】 ①バクテリオファージ T4 の頭部形態形成 (『大谷大学研究年報』大谷学会 1993年) ②T3 ファージを用いた巨大 DNA のクローニングと構造解析 (『蛋白質・核酸・酵素』共立出版 1993年)

【主な業績】 ①Studies on bacteriophage T3, I, Kinetic studies on particle formation and a role of capsids as intermediates of head morphogenesis of bacteriophage T3. (共著 Virology 1973年) ②Studies on bacteriophage T3. III. Characterization of capsids as intermediates of the T3 head assembly. (Virology 1975年) ③Genetic analysis of subunit assembly of the tail fiber of bacteriophage T3. (共著 Virology 1985年) ④Purification and characterization of gene 17 product of bacteriophage T3. (Virology 1985年) ⑤Subunit arrangement of the tail fiber of bacteriophage T3. (Virology 1986年)

【キーワード】 T4 ファージ、プロヘッド、コネクター

【社会活動】

西田 潤一 ニシダ ジュンイチ

所属/職：大谷大学文学部 教授

学位：理学博士

生年月日/性別：1943年1月24日 男

出身大学：京都大学理学部

最終学歴：京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学専攻博士課程

専門分野：物理地質学

所属学会：地球惑星圏学会、日本地質学会、日本測地学会

【最近の業績】

【主な業績】 ①KS110-1 標高データを用いた重力の地形補正プログラム (『物理探査』物理探査学会 1987年) ②奈良県生駒市高山地区の重力探査から推定される活構造 (『地震』日本地震学会 1991年) ③ELF-MT 法による花折断層の比抵抗構造 (『地震』1989年) ④奈良県五條市付近での重力探査 (『地震』) 1995年) ⑤Gravity survey around Lake Biwa (Jour. Phys. Earth 1990年)

【キーワード】 物理探査、活断層

【社会活動】

瀬戸 進 セト ススム

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1931年6月26日 男

出身大学：東京教育大学体育学部（現筑波大学）

最終学歴：東京教育大学体育学部体育学科体育管理学専攻

専門分野：健康科学、体育学、体力医学

所属学会：日本体育学会、日本体力医学会、日本学校保健学会、日本衛生学会、近畿学校保健学会、京都体育学会

【最近の業績】① “いのち”にかかわる大学生の意識に関する研究（『大谷学報』大谷学会 1996年）② A Study of “Out-of-Play” and “In-Play” Time as Found in the 1st FIFA World Championship Football 1991 (1). (World Congress of Science and Football III Cardiff, BOOK OF ABSTRACTS: 75 1995年) ③ 女子国際サッカー試合のアウトオブプレー・インプレー時間と技術要素別頻度に関する研究（『サッカー医・科学研究』日本サッカー協会 1994年）④ 女子運動部員の体格、体力、運動能力テストにおける縦断的研究（『学校保健研究』日本学校保健学会 1993年）⑤ 第1回 FIFA 女子サッカー選手権大会におけるアウトオブプレーに関する研究（『サッカー医・科学研究』1993年）

【主な業績】① 『コーチ学（サッカー編）新体育学講座第50巻』（逍遙書院 1968年）② 『発育発達と健康』（海青社 1975年）③ Growth and development of Japanese students and its contributing factors（『体育学研究』日本体育学会 1971年）④ ストレス作用要因に対する防衛反応の研究—単独寒冷刺激について—（『大谷大学研究年報』大谷学会 1977年）⑤ 学徒の栄養摂取の実態とその発育発達に及ぼす貢献度の研究（昭和54～56年度科学研究費補助金（特定研究（1））研究成果報告書 1982年）

【キーワード】 体格・体力、縦断的、不定愁訴、死生観、サッカー、技術・主審

【社会活動】（財）日本サッカー協会審判インストラクター兼インスペクター、京都府サッカー協会規律・フェアプレー委員長、（財）京都府体育協会スポーツ指導者委員会委員、（社）全国大学体育連合近畿支部会理事、（社）全国大学体育連合機関誌編集委員会支部編集協力委員、日本体育学会評議員、日本体力医学会評議員、近畿学校保健学会幹事、京都体育学会副会長

山田 知子 ヤマダ トモコ

所属/職：大谷大学短期大学部 教授

生年月日/性別：1932年10月9日 女

出身大学：奈良女子大学家政学部

最終学歴：奈良女子大学家政学部

専門分野：スポーツ人類学、民俗学

所属学会：日本体育学会、日本民俗学会、民俗芸能学会

【最近の業績】① 養父町史（『民間競技』養父町 1994年）② 相撲の宇宙論（『土俵まつりと修験道』平凡社 1993年）

【主な業績】①『体育への誘い』（第5講 きたえる、第9講 集団 海青社 1984年）②まつりと芸能の研究（『相撲と民俗』錦正社 1983年）③稲荷信仰の研究（『稲荷信仰と古墳』山陽新聞社 1985年）

【キーワード】競技、祭礼、修験道

【社会活動】

中桐 伸吾 ナカギリ シンゴ

所属/職：大谷大学文学部 教授

生年月日/性別：1944年12月18日 男

出身大学：京都教育大学特修体育学科

最終学歴：京都教育大学教育専攻科保健体育学専攻

専門分野：体育心理学、スポーツ心理学

所属学会：日本体育学会、日本スポーツ心理学会

【最近の業績】①体育とスポーツのイメージの計量的分析—因子分析法による比較—（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1994年）②サッカーに対するイメージについて—日本と英国のサッカー選手の比較—（『京都外国語大学研究論叢』1993 XLI 京都外国語大学国際言語平和研究所 1993年）③体育とスポーツのイメージの尺度作成の研究（『大谷学報』大谷学会 1992年）④体育とスポーツに対するイメージ（『大谷大学研究年報』大谷学会 1996年）

【主な業績】①『体育への誘い』（海青社 1984年）②本学女子学生の体育実技種目に対する嗜好性の変化—評定尺度法と対比較法による比較から—（『大谷学報』大谷学会 1980年）③体育実技種目に対するイメージ—本学女子学生の場合—（『大谷学報』大谷学会 1984年）④大学生のサッカーに対するイメージについて（『京都体育学研究』1990年）⑤日本・英国・香港の大学生男女のサッカーに対するイメージの計量的分析（『京都体育学研究』京都体育学会 1996年）

【キーワード】体育、スポーツ、イメージ

【社会活動】

中森 一郎 ナカモリ カズオ

所属/職：大谷大学短期大学部 専任講師

生年月日/性別：1952年8月4日 男

出身大学：中京大学体育学部

最終学歴：京都教育大学教育専攻科保健体育（体育学）

専門分野：体育史学（日本）

所属学会：日本体育学会、体育史専門分科会、教育史学会

【最近の業績】①踏海流游泳術に関する一考察—創始者秋吉基治と踏海流に関する実相探求過程の周辺から—（『京都体育学研究』京都体育学会 1996年）②『観海流』（泗水術観海流 1995年）③神統流に関する調査研究—第2報— 郷土新聞に見る黒田清光

と戦前の神統流の復興・伝承過程について—（『聖マリアンナ医科大学紀要』1993年）④日本泳法神統流に関する研究—神統流の伝承過程を中心として—（文部省科学研究費補助金研究成果報告書 1993年）

【主な業績】①『体育への誘い』（海青社 1984年）②『みずあそび』（海青社 1989年）③観海流の伝播に関する一考察—京都府（尋常）師範学校における場合—（『京都体育学研究』1986年）④観海流の伝播に関する一考察—京都府下学校への伝播から—（『大谷学報』大谷学会 1988年）⑤日本泳法の伝播に関する研究—観海流の伝播に関する基礎的調査研究—（『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』大谷大学真宗総合研究所 1990年）

【キーワード】日本泳法、伝播、伝承

【社会活動】平成8年度学校体育実技指導協力者派遣事業委嘱（京都府教育委員会）、全国車いす駅伝競走大会競技役員委嘱（1996年全国車いす駅伝競走大会実行委員会）

村松 法文 ムラマツ ノリフミ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1945年3月18日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程

専門分野：図書館学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本図書館研究会、日本図書館協会

【最近の業績】①目録学考（『大谷学報』大谷学会 1995年）②『滋賀県大般若波羅蜜多經調査報告書二』（滋賀県教育委員会 1994年）

【主な業績】①『新羅元曉撰二障義』（平楽寺書店 1979年）②『國寶慶雲三年書寫淨名玄論』（横超慧日発行 1977年）③大谷大学図書館蔵鳳潭肉筆雲華院蔵俱舍論光宝二記について（『仏教学セミナー』大谷大学仏教学会 1970年）

【キーワード】二障義、淨名玄論、俱舍論光宝二記

【社会活動】

泉 恵機 イズミ シゲキ

所属/職：大谷大学文学部 専任講師

生年月日/性別：1944年3月27日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻修士課程

専門分野：真宗学

所属学会：平出修研究会

【最近の業績】①大逆事件の犠牲者高木顕明師について（『真宗』真宗大谷派宗務所 1993年）

【主な業績】①大谷派同和運動の歴史と課題（上）（『真宗』1975年）②大谷派同和運動の歴史と課題（中）（『真宗』1975年）③大谷派同和運動の歴史と課題（下）（『真宗』1975年）

【キーワード】大逆事件、仏教、高木顯明

【社会活動】

加治 洋一 カジ ヨウイチ

所属/職：大谷大学短期大学部 助手

生年月日/性別：1947年5月7日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程

専門分野：仏教学

所属学会：日本仏教学会

【最近の業績】①『発智論1』（共著 大蔵出版 1996年）

【主な業績】

【キーワード】仏教、アビダルマ、インド

【社会活動】

大城 邦義 オオシロ クニヨシ

所属/職：大谷大学短期大学部 助手

生年月日/性別：1952年7月20日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本宗教学会、日本印度学仏教学会、真宗連合学会、日本仏教教育学会

【最近の業績】①仏教教育・仏教保育の基底（『大谷大学真宗総合研究所紀要』大谷大学真宗総合研究所 1995年）②信と経験—仏説観無量寿経を読む—（『大谷学報』大谷学会 1992年）

【主な業績】①機（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1981年）②教学者とは何か—曾我量深の教学の出発点に学ぶ—（『親鸞教学』1990年）③近代真宗教学とは何か—曾我量深の日蓮観—（1）（『真宗研究』真宗連合学会 1990年）

【キーワード】親鸞、近代真宗教学、宗教と教育

【社会活動】

中畷 容子 ナカシマ ヨウコ

所属/職：大谷大学短期大学部 助手

生年月日/性別：1966年10月28日 女

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻博士課程

専門分野：国語学・国文学

所属学会：国語学会、全国大学国語国文学会、大阪大学国語国文学会、鈴木康学会

【最近の業績】①『魚太平記 校本と研究』（共著 勉誠社 1995年）②翻刻『しゃくそんしゅつせの物かたり』（『文芸論叢』大谷大学文芸学会 1994、95年）

【主な業績】①音象徴語の二音節語基と意味—語型との関わりから—（『文芸論叢』1993年）②音象徴語の一音節語基—二音節語基との比較から—（『大谷大学大学院研究紀要』大谷大学 1993年）

【キーワード】語基、活字、出版

【社会活動】

木越 康 キゴシ ヤスシ

所属/職：大谷大学短期大学部 助手

生年月日/性別：1963年2月18日 男

出身大学：大谷大学文学部

最終学歴：大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻博士課程

専門分野：真宗学

所属学会：日本印度学仏教学会、日本宗教学会、日本仏教学会、国際真宗学会、真宗連合学会

【最近の業績】①信仰的主体の確立—宗教の個人化の問題をめぐって—（『真宗研究』真宗連合学会 1996年）②現代的宗教と真宗—「浄土真宗」の課題—（『親鸞教学』大谷大学真宗学会 1995年）

【主な業績】①真宗教団論序説—宗教意識の変容と真宗教団近代化の焦点—（『私学研修』私学研修福祉会 1994年）②大行の開示する仏道（『大谷大学大学院研究紀要』大谷大学 1989年）

【キーワード】真宗、親鸞、教団論、教会論、現代宗教

【社会活動】

5. 附属幼稚園教員

増田 清子 マスダ スガコ

生年月日/性別：1939年9月3日 女

出身大学：華頂短期大学 保育科

資格：幼稚園教諭1級免許状、保育資格

現職：主任

稲葉 恵利子 イナバ エリコ

生年月日/性別：1963年2月13日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2級免許状

現職：5歳児担任

石井 美津恵 イシイ ミツエ

生年月日/性別：1968年7月3日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2級免許状

現職：3歳児担任

緒方 知子 オガタ トモコ

生年月日/性別：1971年11月26日 女

出身大学：華頂大学短期大学 幼児教育学科

資格：幼稚園教諭2種免許状、保母資格

現職：5歳児担任

寺井 雅美 テライ マサミ

生年月日/性別：1971年9月21日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2種免許状

現職：4歳児担任

石川 恵美 イシカワ エミ

生年月日/性別：1972年12月6日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2種免許状、保母資格

現職：4歳児担任

水野 真紀 ミズノ マキ

生年月日/性別：1973年3月4日 女

出身大学：京都文教短期大学 児童教育学科

資格：幼稚園教諭2種免許状、保母資格

現職：5歳児担任

浅川 光 アサカワ ミツ

生年月日/性別：1974年8月4日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2種免許状、保母資格

現職：4歳児担任

乙藤 京子 オトフジ キョウコ

生年月日/性別：1975年9月17日 女

出身大学：大谷大学短期大学部 幼児教育科

資格：幼稚園教諭2種免許状、保母資格

現職：3歳児担任